

札幌医科大学要覽

平成22年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代理事長等	2
(3)	組織機構図	3
(4)	役員	4
(5)	名誉教授	8
(6)	名誉博士	8
(7)	正職員数	9
	ア 総括表	
	イ 医学部専門教育科目職員数	
	ウ 医学部基礎医学部門職員数	
	エ 医学部臨床医学部門職員数	
	オ 保健医療学部職員数	
	カ 医療人育成センター職員数	
	キ 附属病院職員数	
	ク 事務局職員数	
(8)	主な研究題目	1 2
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
	ウ 医療人育成センター	
	エ 寄附講座	
	オ 特設講座	
(9)	文部科学省 G P の採択・実施状況	2 6
(10)	国際交流	2 7
	ア 国際医学交流	
	イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	
	ウ 教員在外研究等	
	エ 国際医学交流センター	
(11)	標本館	2 8
	ア 歴代館長	
	イ 概況	
	ウ 利用状況	
2	学事事項	2 9
(1)	学生に関する事項	2 9
	ア 年度別志願者及び入学者数	
	イ 定員及び現員数	
	ウ 出身地別現員数	
(2)	年次別卒業者数	3 1
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部 1	
(3)	国家試験合格状況	3 2
	ア 医師	
	イ 看護師	
	ウ 保健師	
	エ 理学療法士	
	オ 作業療法士	
(4)	研究生数	3 3
(5)	修士及び博士（医学）の学位授与者数	3 4
(6)	修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数	3 4
3	附属病院	3 5
(1)	沿革	3 5
(2)	歴代病院長	3 5
(3)	患者概況	3 7
	ア 年間延患者数	
	イ 1日平均患者数	
(4)	中央部門稼働実績概況	3 8
	ア 放射線部使用状況	
	イ 検査部・病理部・医療材料部検査件数	
	ウ 薬剤部調剤件数	
	エ 手術部手術件数	
(5)	分娩件数	4 1
(6)	病床数	4 2
(7)	病理解剖件数	4 3
(8)	医療相談状況（平成 2 1 年度）	4 4
	ア 各科別件数	
	イ 相談内容別件数	
(9)	病院経営概況	4 5
	ア 病院診療収入稼働額	
	イ 医療行為別診療収入稼働額	

4	医学部附属がん研究所.....	4 6
(1)	沿革.....	4 6
(2)	歴代研究所長.....	4 6
(3)	組織.....	4 6
(4)	研究計画の概要.....	4 7
	ア 生化学部門	
	イ 分子生物学部門	
	ウ 分子病理病態学部門	
5	医学部附属臨海医学研究所.....	4 8
(1)	沿革.....	4 8
(2)	歴代研究所長.....	4 8
(3)	組織.....	4 8
(4)	研究計画の概要.....	4 8
6	医学部教育研究機器センター.....	4 9
(1)	沿革.....	4 9
(2)	歴代施設部長及びセンター所長.....	4 9
(3)	組織.....	4 9
(4)	研究計画の概要.....	5 0
7	医学部動物実験施設部.....	5 1
(1)	沿革.....	5 1
(2)	歴代施設部長.....	5 1
(3)	組織.....	5 1
(4)	関連委員会・指針.....	5 1
(5)	事業の概要(平成21年度).....	5 2
	ア 公開セミナー	
	イ 施設利用者数	
	ウ 実験動物購入数及び飼育数	
	エ 実験動物検疫検査実績数...	
8	附属総合情報センター.....	5 3
(1)	沿革.....	5 3
(2)	センター所長.....	5 3
(3)	組織.....	5 3
(4)	事業の概要及び主な施設の整備状況.....	5 3
	(情報システム部門)	
	ア 教育支援システム	
	イ 研究支援システム	
	ウ 地域医療支援システム	
	エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	
	(図書館部門)	
	ア 組織・施設概要	
	イ 蔵書	
	ウ 入館者数内訳(平成21年度)	
	エ 利用概要(平成21年度)	
	オ 地域医療支援(文献複写受付)	
	カ 特徴的な業務	
9	附属産学・地域連携センター.....	5 7
(1)	沿革.....	5 7
(2)	歴代センター所長.....	5 7
(3)	組織.....	5 7
(4)	業務概要.....	5 7
	ア 研究支援	
	イ 教育支援	
	ウ 知的財産の管理活用	
(5)	文部科学省科学研究費補助金.....	5 7
(6)	受託研究受入れ状況.....	5 8
(7)	特許出願等の状況.....	5 9
10	緩和医療学講座.....	5 9
(1)	沿革.....	6 0
(2)	所属長.....	6 0
(3)	組織.....	6 0
(4)	研究計画の概要.....	6 0
11	分子標的探索講座.....	6 1
(1)	沿革.....	6 1
(2)	所属長.....	6 1
(3)	組織.....	6 1
(4)	研究計画の概要.....	6 1
12	神経再生医学講座.....	6 2
(1)	沿革.....	6 2
(2)	所属長.....	6 2
(3)	組織.....	6 2
(4)	研究計画の概要.....	6 2

13	オホーツク医療環境研究講座.....	6 3
	(1) 沿革.....	6 3
	(2) 担当教授及び代表委員.....	6 3
	(3) 組織.....	6 3
	(4) 研究計画の概要.....	6 3
14	道民医療推進学講座.....	6 4
	(1) 沿革.....	6 4
	(2) 担当教授及び代表委員.....	6 4
	(3) 組織.....	6 4
	(4) 研究計画の概要.....	6 4
15	南檜山周産期環境研究講座.....	6 5
	(1) 沿革.....	6 5
	(2) 担当教授及び代表委員.....	6 5
	(3) 組織.....	6 5
	(4) 研究計画の概要.....	6 5
16	平成 2 2 年度歳入歳出予算.....	6 6
14	校舎等建物面積.....	6 7

1 概要

(1) 沿革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を増設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

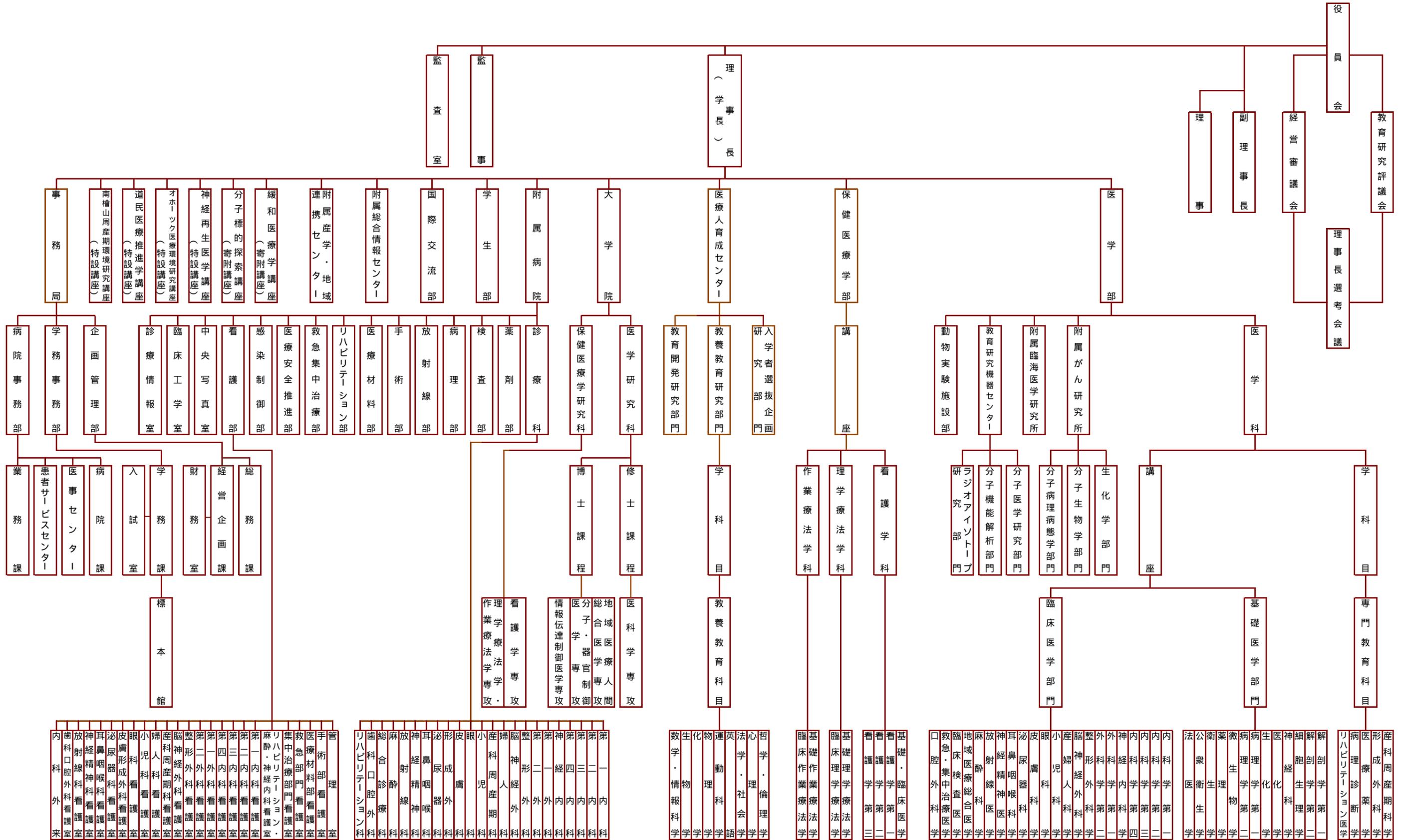
昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙行(大学記念日とする)
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止
昭和43年4月1日	生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙行
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部(入学定員90名)開設 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修

平成8年4月1日	特定機能病院として承認
平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科(入学定員24名)開設 (看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻)
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置
平成11年4月1日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年6月11日	新図書館開設
平成12年4月1日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員6名)開設
平成12年4月1日	学務部を廃止し、学生部を設置
平成12年4月1日	医学部に副学部長制(2名)施行
平成12年4月1日	臨床検査医学講座増設
平成12年6月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年4月1日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ)
平成13年4月16日	地域医療支援センター設置
平成14年4月1日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年10月1日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年12月1日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年4月1日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 学校教育法第69条に基づく認証評価を受ける
平成16年9月17日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成18年4月1日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置
平成19年4月1日	大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員2名)開設
平成19年10月1日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成20年2月13日	機器診断学廃止 保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員
平成20年4月1日	大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月1日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年4月1日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年6月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行

(2) 歴代理事長等

理事長					
平成19年4月1日	-	平成22年3月31日	今	井	浩
平成22年4月1日	-	現	島	本	和
					三
					明
学長					
昭和25年4月1日	-	昭和36年3月31日	大	野	精
昭和36年4月1日	-	昭和40年3月31日	中	川	七
昭和40年4月1日	-	昭和45年2月1日	新	保	幸
昭和45年2月1日	-	昭和47年2月8日	渡	邊	左
昭和47年2月9日	-	昭和55年2月8日	渡	邊	左
昭和55年2月9日	-	昭和61年2月8日	和	田	武
昭和61年2月9日	-	平成4年2月8日	菊	地	雄
平成4年2月9日	-	平成10年2月8日	谷	内	浩
平成10年2月9日	-	平成16年2月8日	秋	野	昭
平成16年2月9日	-	平成22年3月31日	今	井	明
平成22年4月1日	-	現	島	本	和
					明

(3) 組織機構図 (平成22年10月1日現在)



(4) 役職員

(平成22年10月1日現在)

法人

役員会

理事	長	島本和明
副理事	長 (管理・運営担当)	平山和則
	事 (教育担当)	黒木由夫
	" (学術研究担当)	乾公美
	" (医療担当)	塚本泰司
	" (経営担当)	白崎賢治
監事	事	旗本道男
	"	渡辺英一

経営審議会

議委	長	島本和明
	員	平山和則
	"	塚本泰司
	"	白崎賢治
	"	黒木由夫
	"	太田三夫
	"	吉田守利
	"	川崎毅一郎
	"	山口博司
	"	山本直也

教育研究評議会

議委	長	島本和明
	員	黒木由夫
	"	乾公美
	"	塚本泰司
	"	森岡伸一
	"	平田公一
	"	佐藤昇志
	"	當瀬規嗣
	"	三高俊広
	"	澤橋弘毅
	"	篠田均久
	"	山村恭敏
	"	奥宮敏彦
	"	片寄正樹
	"	小塚直樹
	"	坪田貞子
	"	松嶋範男
	"	野村了範
	"	伊藤秀

監査室

室	長 (兼) 教授	氷見徹夫
---	----------	------

大学

長 (兼)

島本和明

学	長 (兼)	島本和明
事務局	長	野村了
企画管理部	長兼	中野渡直志
学務事務部	長	谷藤俊哉
病院事務部	長	成田克哉
総務課	長	久保田浩文
総務課	参事	久保田浩文
経営企画課	長兼	齊藤仁
財務課	室長	大川健一
学務課	入試室長	嶋田哲朗
病院課	長	貞村英愛
医事センター	長	亀村内嶋
患者サービスセンター	長	竹内嶋
業務課	長	寺嶋

事務局

医学部

学 部 長 (兼)	教授	黒 木 由 夫
副 学 部 長 (〃)	〃	高 橋 弘 毅
〃 (〃)	〃	澤 田 典 均

学 科 目

専門教育科目

産科周産期科学 (兼)	教授	齋 藤 豪
形成外科学	〃	四 ツ 柳 高 敏
医療薬学	〃	宮 本 篤
病理診断学	〃	長 谷 川 匡
リハビリテーション医学	〃	石 合 純 夫

講 座

基礎医学部門(13講座)

解剖学第一講座	教授	辰 巳 治 之
解剖学第二講座	〃	藤 宮 峯 子
細胞生理学講座 (兼)	〃	當 瀬 規 嗣
神経科学講座	〃	長 峯 隆
医化学講座	〃	黒 木 由 夫
生化学講座	〃	豊 田 実
病理学第一講座	〃	佐 藤 昇 志
病理学第二講座	〃	澤 田 典 均
微生物学講座	〃	藤 井 暢 弘
薬理学講座	〃	堀 尾 嘉 幸
衛生学講座	〃	小 林 宣 道
公衆衛生学講座	〃	森 満 志
法医学講座	〃	松 本 博 志

臨床医学部門(22講座)

内科学第一講座	教授	篠 村 恭 久
内科学第二講座		(不 在)
内科学第三講座	〃	高 橋 弘 毅
内科学第四講座	〃	加 藤 淳 二
神経内科学講座	〃	下 濱 俊
外科学第一講座	〃	平 田 公 一
外科学第二講座	〃	樋 上 哲 哉
整形外科講座	〃	山 下 敏 彦
脳神経外科学講座		(不 在)
産婦人科学講座	〃	齋 藤 豪
小児科学講座	〃	堤 裕 幸
眼科学講座	〃	大 黒 浩
皮膚科学講座	〃	山 下 利 春
泌尿器科学講座 (兼)	〃	塚 本 泰 司
耳鼻咽喉科学講座	〃	水 見 徹 夫
神経精神医学講座	〃	齋 藤 利 和
放射線医学講座	〃	晴 山 雅 人
麻醉科学講座	〃	山 蔭 道 明
地域医療総合医学講座	〃	山 本 和 利
臨床検査医学講座	〃	渡 邊 直 樹
救急・集中治療医学講座	〃	浅 井 康 文
口腔外科学講座	〃	平 塚 博 義

医学部附属がん研究所

所長(事務取扱)	教授	黒 木 由 夫
生化学部門(兼)	〃	時 野 隆 至
分子生物学部門	〃	時 野 隆 至
分子病理病態学部門	〃	三 高 俊 広

医学部附属臨海医学研究所

所 長 (兼)	教授	黒 木 由 夫
副 所 長	准教授	高 橋 延 昭

医学部教育研究機器センター

所 長 (兼)	教授	藤 宮 峯 子
分子医学研究部門 部門長	〃	濱 田 洋 文
分子機能解析部門 部門長	〃	小 海 康 夫
ラック・オアイソトープ (兼) 研究部門 部門長	〃	加 藤 淳 二

医学部動物実験施設部

部 長 (兼)	教授	堀 尾 嘉 幸
副 部 長	准教授	磯 貝 幸 浩

保健医療学部

学 部 長(兼) 教授 乾 公 美
副 学 部 長(〃) " 奥 宮 暁 子
" (〃) " 片 寄 正 樹

看護学科

学 科 長(兼) 教授 奥 宮 暁 子
基礎・臨床医学講座 " 一 宮 慎 吾
看護学第一講座 " 片 岡 秋 子
" " 大 日 向 輝 美
看護学第二講座 " 蛭 名 美 智 子
" " 猪 股 千 代 子
" " 山 口 雅 子
看護学第三講座 " 波 川 京 子
" " 奥 宮 暁 子
" " 吉 野 淳 一

理学療法学科

学 科 長(兼) 教授 小 塚 直 樹
基礎理学療法学講座 " 武 田 秀 勝
" (兼) " 乾 公 美
" " " 小 塚 直 樹
臨床理学療法学講座 " 内 山 英 一
" " 片 寄 正 樹

作業療法学科

学 科 長(兼) 教授 坪 田 貞 子
基礎作業療法学講座 " 坪 田 貞 子
臨床作業療法学講座 " 仙 石 泰 仁
" " 池 田 望
" " 松 山 清 治

医療人育成センター

セ ン タ ー 長(兼) 教授 森 岡 伸
副 セ ン タ ー 長(〃) " 松 嶋 範 男

入学者選抜企画研究部門

部 門 長(兼) 教授 傳 野 隆 一
入学者選抜企画研究部門 " 傳 野 隆 一

教養教育研究部門

部 門 長(兼) 教授 松 嶋 範 男

学科目

教養教育科目

哲 学 ・ 倫 理 学 (不 在)
心 理 学 教 授 澤 田 幸 展
法 学 ・ 社 会 学 准 教 授 旗 手 俊 彦
" " 道 信 良 子
英 語 教 授 森 岡 伸
運 動 科 学 准 教 授 岡 野 五 郎
物 理 学 教 授 高 田 純
" " 松 嶋 範 男
化 学 " 賀 佐 伸 省
" " 藤 井 博 匡
生 物 学 " 吉 田 幸 一
数 学 ・ 情 報 科 学 准 教 授 大 柳 俊 夫

教育開発研究部門

部 門 長(兼) 教授 相 馬 仁
教育開発研究部門 " 相 馬 仁

附属病院

病院	長(兼)	教授	塚本泰司
副院長	長(〃)	〃	篠村恭久
〃	長(〃)	〃	山下敏彦
〃	長(〃)	看護部長	鈴木康世
診療科(23科938床)			
第一内科	長(兼)	教授	篠村恭久
第二内科	長(〃)	〃	(不在)
第三内科	長(〃)	〃	高橋弘毅
第四内科	長(〃)	〃	加藤淳二
神経内科	長(〃)	〃	下濱俊
第一外科	長(〃)	〃	平田公一
第二外科	長(〃)	〃	樋上哲哉
整形外科	長(〃)	〃	山下敏彦
脳神経外科	長(〃)	〃	(不在)
婦人科	長(〃)	〃	齋藤豪
産科周産期科	長(〃)	〃	齋藤豪
小児科	長(〃)	〃	堤裕幸
眼科	長(〃)	〃	大黒浩
皮膚科	長(〃)	〃	山下利春
形成外科	長(〃)	〃	四ツ柳高敏
泌尿器科	長(〃)	〃	塚本泰司
耳鼻咽喉科	長(〃)	〃	氷見徹夫
神経精神科	長(〃)	〃	齋藤利和
放射線科	長(〃)	〃	晴山雅人
麻酔科	長(〃)	〃	山蔭道明
総合診療科	長(〃)	〃	山本和利
歯科口腔外科	長(〃)	〃	平塚博義
リハビリテーション科	長(〃)	〃	石合純夫

薬剤部	部長(兼)	教授	宮本篤
検査部	部長(兼)	教授	渡邊直樹
病理部	部長(兼)	教授	長谷川匡
放射線部	部長(兼)	教授	晴山雅人
手術部	部長(兼)	教授	樋上哲哉
医療材料部	部長(兼)	教授	齋藤利和
リハビリテーション部	部長(兼)	教授	石合純夫
救急集中治療部	部長(兼)	教授	浅井康文
医療安全推進部	部長(兼)	教授	山下敏彦
感染制御部	部長(兼)	教授	渡邊直樹

看護部	部長	鈴木康世
中央写真室	室長(兼)	教授 長谷川匡
臨床工学室	室長(兼)	教授 山下敏彦
診療情報室	室長(兼)	教授 篠村恭久

学生部

部	部長(兼)	教授	平田公一
	(〃)	〃	森満勝
	(〃)	〃	武田秀勝

国際交流部

部	部長(兼)	教授	佐藤昇志
	(〃)	〃	齋藤利和
	(〃)	〃	齋藤豪
	(〃)	〃	坪田貞子

附属総合情報センター

所	部長(兼)	教授	當瀬規嗣
副所	部長(〃)	講師	大西浩文
副所	部長		石栗公文

附属産学・地域連携センター

所	部長(兼)	教授	三高俊広
副所	部長(〃)	准教授	石埜正穂
参事			原浩司
副所	部長(兼)		原浩司

(寄附講座)

緩和医療学講座(兼)	教授	山蔭道明
分子標的探索講座	特任教授	新津洋司郎

(特設講座)

神経再生医学講座	特任教授	本望修
オホーツク医療環境研究講座(兼)	教授	篠村恭久
道民医療推進学講座	特任教授	和田卓郎
南檜山周産期環境研究講座(兼)	教授	齋藤豪

(5) 名誉教授 (授与順)

(平成22年10月1日現在)

名	譽	教	授	和	田	寿	郎
"	"	"	"	福	嶋	豁	行
"	"	"	"	塚	田	英	之
"	"	"	"	寺	山	良	雄
"	"	"	"	三	木	一	毅
"	"	"	"	漆	崎	正	朗
"	"	"	"	橋	本	杏	淑
"	"	"	"	高	橋	悦	三
"	"	"	"	熊	本	一	明
"	"	"	"	黒	川	守	郎
"	"	"	"	福	田		道
"	"	"	"	飯	村		攻
"	"	"	"	小	片		基
"	"	"	"	藤	永		蕙
"	"	"	"	近	藤	潤	子
"	"	"	"	藪		英	世
"	"	(元学長)	"	菊	地	浩	吉
"	"	"	"	高	畑	直	彦
"	"	"	"	森	田	和	夫
"	"	"	"	大	鹿	英	世
"	"	"	"	形	浦	昭	克
"	"	"	"	三	宅	浩	次
"	"	"	"	小	松	俊	郎
"	"	"	"	筒	井		完
"	"	"	"	森		道	夫
"	"	"	"	中	川		喬
"	"	"	"	岩	城	禮	三
"	"	"	"	浅	見	行	一
"	"	"	"	千	葉	峻	三
"	"	"	"	浦	澤	价	子
"	"	"	"	浦	澤	正	三
"	"	"	"	端		和	夫
"	"	"	"	石	井	清	一
"	"	"	"	板	谷	幸	一
"	"	"	"	望	月	洋	一
"	"	"	"	石	澤	光	郎
"	"	"	"	小	浜	源	郁
"	"	"	"	秋	山	盛	雄
"	"	(元学長)	"	秋	野	豊	明
"	"	"	"	工	藤	隆	一
"	"	"	"	阿	部	庄	作
"	"	"	"	鬼	原		彰
"	"	"	"	山	崎	英	雄
"	"	"	"	安	倍	十	三
"	"	"	"	David		James	夫
"	"	"	"	青	木		藩
"	"	"	"	名	取		博
"	"	"	"	松	本	博	之
"	"	"	"	神	保	孝	一
"	"	"	"	宮	本	重	範
"	"	"	"	加	納	英	雄
"	"	"	"	乘	安	整	而
"	"	"	"	佐	々	木	輝
"	"	"	"	新	津	洋	司
"	"	"	"	根	本		慎

名	譽	教	授	丸	山	知	子
"	"	"	"	並	木	昭	義
"	"	"	"	稻	葉	佳	江
"	"	(元学長)	"	今	井	浩	三
"	"	"	"	笠	井	道	夫
"	"	"	"				潔

(6) 名誉博士

(平成22年10月1日現在)

名	譽	博	士	Pierre	CHAMBON
---	---	---	---	--------	---------

(7) 正職員数

(平成22年10月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

	計	学 部			保健医療学部			医療人育成センター			附 属 病 院	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー	神 経 再 生 医 学 講 座	道 民 医 療 推 進 学 講 座	事 務 局	監 査 室					
		医 学 科			附 属 臨 海 医 学 研 究 所	教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	作 業 療 法 学 科								入 学 者 選 抜 企 画 研 究 部 門	教 養 教 育 研 究 部 門	教 育 開 発 研 究 部 門		
		学 科 目 (専 門 教 育 科 目)	講 座 (基 礎 医 学 部 門)	講 座 (臨 床 医 学 部 門)																		
教育職	1 68 68 84 154 11	1 4 2 2 8	16 13 11 9 29	63 20 25 52 102	10 2 2 2 4	1 1 1 2 1	1 1 1 3 5	31 5 2 3 5	14 3 2 1 3	13 4 4 2 2	2 1 1 1 1	22 7 9 5 1	3 1 2									
計	386	1	16	63	199	10	1	6	1	31	14	13	2	22	3							
一般職	3 22 135 15 1 1 1 2 11 11 2 1 1 2 8 3 7																					
計(1)	226			5	3	1		5	2				1		22	14	5		166	2		
医療職	2 5 54 1 30 48 5 3 2 3 9 4 3 2																					
計(2)	171					2		6	2						156					5		
看護職	657 29 4														657 29 4							
計(3)	690														690							
(1)+(2)+(3)	1,087			5	3	3		11	4				1		868	14	5		171	2		
総計	1,473	1	16	68	202	13	1	17	5	31	14	13	2	23	3	868	16	5	1	1	171	2

役員で職員を兼務する者(理事長、医学部教授、保健医療学部教授)4名を含む

職員数は、再雇用職員を含む

イ 医学部専門教育科目職員数 (単位:人)

所 属		学 科 目 (専 門 教 育 科 目)					計
		産科 周産期 科学	形 成 外 科 学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学	
職 種	教 准 教		1	1	1	1	4
	授 師 教	1			1		2
	助 助 助	2	1		2	1	2
	手 手 手		2		2	2	8
合 計		3	4	1	4	4	16

ウ 医学部基礎医学部門職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (基 礎 医 学 部 門)												計	
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	生 化 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学		法 医 学
職 種	教 准 教	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	授 師 教	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	助 助 助	1	3	4	2	2	3	2	2	1	3	2	1	3	9
	手 手 手	1													29
計		5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	4	6	63
一 般 職	研 究 補 助 員	1	1	1						1			1		3
	能 力 員	1	1	1						1			1		2
合 計		6	6	6	5	5	4	5	5	5	5	5	5	6	68

エ 医学部臨床医学部門職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (臨 床 医 学 部 門)																	計							
		内 科 学 第 一	内 科 学 第 二	内 科 学 第 三	内 科 学 第 四	神 經 内 科 学	外 科 学 第 一	外 科 学 第 二	整 形 外 科 学	脳 神 經 外 科 学	産 婦 人 科 学	小 児 科 学	眼 科 学	皮 膚 科 学	泌 尿 器 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	神 經 精 神 医 学	放 射 線 医 学		麻 酔 科 学	地 域 医 療 総 合 医 学	臨 床 検 査 医 学	救 急 ・ 集 中 治 療 医 学	口 腔 外 科 学		
職 種	教 准 教	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
	授 師 教	2	2	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	25
	助 助 助	3	4	2	4	2	1	1	4	2	4	3	3	2	1	2	3	3	2	2	5	3	4	4	2	52
	手 手 手	5	4	5	5	5	7	5	5	5	4	3	5	4	7	4	6	5	5	2	2	7	7	5	5	102
計		11	10	9	11	5	11	9	11	8	10	8	10	6	11	7	10	10	9	3	6	15	9	9	9	199
一 般 職	研 究 補 助 員	1												1			1									3
	能 力 員	1												1			1									3
合 計		12	10	9	11	5	11	9	11	8	10	8	10	6	12	7	10	11	9	3	6	15	9	9	9	202

オ 保健医療学部職員数 (単位:人)

所 属		看 護 学 科			理 学 療 法 学 科		作 業 療 法 学 科		計	
		基 礎 臨 床 医 学	看 護 学 第 一	看 護 学 第 二	看 護 学 第 三	基 礎 理 学 療 法 学	臨 床 理 学 療 法 学	基 礎 作 業 療 法 学		臨 床 作 業 療 法 学
職 種	教 准 教	1	2	3	3	3	2	1	3	18
	授 師 教	2	3	2	2	1	2	4		16
	助 助 助	1	1	1	3	1	1	1	2	9
	手 手 手	1	1	1	1	1	1	1	1	6
合 計		3	9	8	11	6	8	6	7	58

カ 医療人育成センター職員数

(単位:人)

職 種	所 属	教養教育研究部門										計
		学 科 目 (教養教育科目)										
		入学 者選 抜企 画研 究部 門	哲 学 ・ 倫 理 学	心 理 学	法 学 ・ 社 会 学	英 語	運 動 科 学	物 理 学	化 学	生 物 学	数 学 ・ 情 報 科 学	
教育職	教授	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	9
	准教授	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	9
	助教		1									8
	助			1								1
	計	2	4	2	3	1	3	3	3	3	3	27
一般職	研究補助員		1									1
	計		1									1
	合計	2	5	2	3	1	3	3	3	3	3	28

キ 附属病院職員数

(単位:人)

職 種	所 属	附 属 病 院															計				
		薬 劑 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リ ハ ビ リ テ ィ シ ョ ン 部	救 急 集 中 治 療 部	医 療 安 全 推 進 部	感 染 制 御 部	看 護 部	中 央 写 真 室	臨 床 工 学 室	診 療 情 報 室	産 科 周 産 期 科		眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科	歯 科 口 腔 外 科
一般職	一般事務職員								1		2								1		4
	技師											4									4
	電気技能員		1	1	2																4
	薬剤補助員	3																			3
	看護										6										6
	計	3	1	1	2				1		8	4	1						1		22
医療職	臨床検査技師	30	45	5											1						51
	薬剤師																				30
	放射線技師				44																44
	理学療法士																				5
	作業療法士							5													3
	言語聴覚士							3											1		2
	理学療法士							1													3
	臨床工学技士												9								9
	臨床歯科技士																				4
	臨床歯工士																				3
	視能訓練士															2				2	
	計	30	45	5	44		12					9		1	2	1				7	
看護職	看護師								2	2	65										67
	助産師										29		2								29
	准看護士										4										4
	計								2	2	68		2								69
	合計	33	46	6	46		12		3	2	692	4	10	2	1	2	1	1	7	868	

ク 事務局職員数

(単位:人)

職 種	所 属	事 務 局								計
		局 長 ・ 部 長	総 務 課	経 営 企 画 課	学 務 課	病 院 課	医 事 セ ン タ ー	患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー	業 務 課	
一般職	局長・部長	3								3
	課長等・主幹員		4	3	4	3	2	1	2	19
	一般事務		34	16	22	25	11	8	8	124
	技師		10		1					11
	守衛員					1				1
	運転補助員		1		1					1
医療職	研究補助員									1
	調査員					2				2
	電話交換手		1							1
	ボイラー技師		2							2
	看護									1
	計	3	52	19	28	31	13	9	11	166
医療職	栄養士					5				5
	計					5				5
	合計	3	52	19	28	36	13	9	11	171

(8) 主な研究題目

ア 医学部

専 門 教 育 科 目	産科周産期科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 多嚢胞性卵巣症候群の病態の解明 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	形成外科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織移植による集学的治療についての臨床研究 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究 4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 6 顔面組織再建法の開発 7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
	医療薬学	<ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究 2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究
	病理診断学	<ol style="list-style-type: none"> 1 腫瘍の形態形成及び悪性度に関する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度及び予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	リハビリテーション医学	<ol style="list-style-type: none"> 1 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーション 2 動作、行為、行動に関わる神経機構解明 3 パーソナルコンピュータを用いた認知機能評価システム作成 4 疼痛の病態生理とコントロール 5 痙縮治療の運動学的解析 6 神経筋疾患に対する車いすシーティング
基 礎 医 学 部 門	解剖学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 消化管の超微形態学および三次元的解析 2 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 3 ITをフル活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 4 インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 5 神経培養による神経細胞の特性の解析 6 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルの機能解析 7 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築 (URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/) 8 Multi-Language Digital Anatomical Database (情報G7 サブプロジェクト8) 9 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 10 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析

基礎 医 学 部 門	解剖学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 再生医学と変性疾患の解明のための骨髄幹細胞研究 2 脳腸相関 3 骨格標本を用いた生物人類学的研究 4 バイオメカニクス研究 5 腸管粘膜の修復、再生のための骨髄幹細胞研究 6 心理ストレス誘発生体反応の分子機構解明
	細胞生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 心拍動開始時期における心臓の機能的変化の検討 2 成長に伴うイオンチャネルの遺伝子発現量および電流量変化に関する研究 3 チャネル電流に作用する新たな分子の同定・機能解析 4 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究
	神経科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海鳥シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医化学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 糖質結合蛋白質の構造と機能に関する研究 2 増殖因子受容体のN型糖鎖の機能に関する研究 3 コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明 4 生体防御関連受容体の構造と機能に関する研究 5 肺サーファクタントアポ蛋白の病態医化学的研究
	生化学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 癌のエピジェネティクス（DNAメチル化とヒストン修飾） 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌におけるマイクロRNAとRNA干渉系の異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析 7 ジアシルグリセロールキナーゼの機能解析
	病理学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 腫瘍免疫分子機構、ヒト癌ワクチン開発 2 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 3 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白と癌 4 胸腺上皮による免疫寛容誘導機構 5 リンパ球抗原と機能 6 移植片拒絶の制御機構 7 分子シャペロンと神経細胞変性機構 8 アポトーシスの分子機構 9 細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌 10 シグナル伝達機構 11 白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学 12 遺伝子診断と分子病理 13 寄生虫病と分子病理 14 海洋生物産生物質と癌、免疫、医学 15 重力医学、宇宙医学

基礎 医 学 部 門	病理学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 生体バリアの分子病理学 2 粘膜の生体防御と病態生理 3 鼻粘膜とタイト結合 4 肝細胞のギャップ結合調節機構 5 肝疾患と血液胆汁関門 6 シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構 7 上皮細胞の極性形成機構 8 細胞間隙における分子通過機構 9 血液組織関門の制御機構 10 発がん過程における上皮構築破綻の機序 11 悪性腫瘍におけるタイト結合異常
	微生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 病原微生物の病原因子に関する研究 2 ウイルス感染によるサイトカイン及びTLRシグナル伝達系の変動に関する研究 3 細胞分化に伴うインターフェロン - システムの変化 4 薬剤耐性機構の解明及び分子疫学 5 難治性疾患における病原微生物、内在性レトロウイルス、レトロポゾン等の関与 6 プリオン蛋白遺伝子プロモータ領域の解析、及びプリオン蛋白蓄積機構の解明
	薬理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 老化の解明、特に長寿遺伝子産物サーチュインの機能の解明 2 細胞内カルシウムイオンの働きと意義
	衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 ウイルス性下痢症の分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学 6 感染症流行に関する時系列解析
	公衆衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究 3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 5 身体活動増加の介入による各種疾患の予防に関する研究 6 環境要因がエピジェネティクスに与える影響に関する研究
	法医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルコール等濫用薬物の細胞内情報伝達機構 2 アルコール性・非アルコール性臓器障害の発生・進展機序 3 アルコール濫用マーカーの探索と応用 4 アルコールの寿命に及ぼす影響 5 アルコール性・ステロイド性大腿骨頭壊死の発生機序と治療法の開発 6 アルコール関連死の病態機序 7 突然死の分子機構と診断法の開発 8 死因究明制度研究 9 死因診断に関する研究

臨床 医 学 部 門	内科学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 消化器癌のゲノム情報に基づく遺伝子診断および遺伝子治療 2 アポトーシスの応用による癌の遺伝子治療 3 癌の新しい分子標的治療の開発 4 潰瘍性大腸炎・クローン病の再生治療、免疫治療 5 消化器癌の拡大内視鏡診断・超音波内視鏡診断と生検材料を用いた遺伝子診断 6 肝・胆・膵領域における新しい画像診断および遺伝子を基盤とした治療 7 消化管癌における新しい癌化促進分子機構の解明と臨床応用 8 消化器癌進展（浸潤・転移）分子機構と遺伝子診断・治療応用 9 肝癌における前癌病変の発生機序とその阻止に関する研究 10 I V Rを用いた癌に対する新しい標的免疫治療の開発 11 自己免疫疾患の感受性遺伝子（S N P）解明 12 自己免疫疾患の新しい治療法の開発 13 後天性免疫不全症候群の遺伝子診断および遺伝子治療 14 新しいオーダーメイド医療の開発
	内科学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 本態性・各種2次性高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法における基礎的・臨床的研究 4 虚血性心疾患の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究 6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究 7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究 8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 10 高血圧、糖尿病の発症と進展に関する疫学的研究 11 虚血性心疾患の発症と予後規定因子に関する疫学的研究 12 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 13 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究 14 各種血液浄化法に関する臨床的研究 15 腎不全におけるカルシウム、リン代謝に関する臨床的研究 16 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究 17 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究
	内科学第三講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 特発性間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺サーファクタント蛋白の機能に関する研究 3 肺癌の診断、予後因子、治療に関する研究 4 肺癌の浸潤転移に関する分子生物学的研究 5 サルコイドーシスの診断、病態に関する研究 6 気管支喘息の病態、治療に関する研究 7 環境と気管支喘息、過敏性肺炎に関する研究 8 膠原病の肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 9 各種肺疾患の三次元的病態像の解析 10 臨床C T、M R I、超音波像の解析 11 肺気腫の診断、病態に関する研究 12 H R C Tをもちいた末梢気道立体構築の研究

臨床 医 学 部 門	内科学第四講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 食道癌に対する新規化学療法の開発 2 胃癌に対する新規化学療法の開発 3 大腸癌に対する新規化学療法の開発 4 膵癌に対する新規化学療法の開発 5 膵癌に対する新規動注化学療法の開発 6 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 7 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 8 肝細胞癌に対する動注化学療法の開発 9 劇症肝炎に対する新規治療法の開発 10 胆道癌に対する動注化学療法の開発 11 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 12 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 13 再生不良性貧血及び骨髄異形成症候群における病態解析 14 造血幹細胞移植における予後因子の探索 15 再生不良性貧血及び骨髄異形成症候群における発症因子の探索 16 赤白血病に対する新規治療法の開発
	神経内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症のニューロン死機序の解明及び細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋委縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症における興奮収縮連関生涯の解明 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの細胞死のメカニズムの検討 8 神経内科疾患におけるステロイド性骨代謝異常とその治療法の検討 9 神経変性疾患関連遺伝子の検索 10 脳卒中医療と福祉に携わる他職種への卒前卒後の脳卒中教育システムの開発 11 北海道の脳卒中医学連携システムの開発
	外科学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 肝不全発症機序と人工肝開発 2 肝幹細胞移植と肝細胞置換術 3 固形癌に対するがんワクチン免疫療法に関する臨床研究 4 消化器癌術後特異的免疫能変動に関する基礎的・臨床的研究 5 腹腔鏡手術における手術手技および手術器具の研究 6 肝再生医学における遺伝子治療の導入 7 外科侵襲と胆汁うっ滞、臓器不全に対する基礎的研究 8 臓器肝移植における再灌流障害発生予防に関する研究 9 アシアログリコプテインレセプター解析による肝予備能評価確立に関する研究 10 固型癌術後療法とDNAアレイおよびプロテオミクスに関する研究 11 心臓死からのグラフト肝摘出に関する研究 12 ラジオ波焼灼を使用した肝切除後の肝再生分子機序に関する研究 13 過冷却超低温技術による全肝臓器保存法の開発研究 14 胃癌、膵・胆道癌の再建外科治療に関する研究 15 全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の消化管運動についての基礎的研究 16 消化器癌・乳癌の転移・治療に関する分子生物学的研究 17 胃癌の転移形式の差に関わる分子機構に関する研究 18 大腸癌再発危険因子の基礎的・臨床的研究 19 膵・胆道癌における癌発生・浸潤形式の分子生物学的研究 20 乳管内微小病変の診断と治療に関する研究 21 重傷感染症に対するヒトグロブリンの投与効果と侵襲因子の同定に関する臨床研究

臨床 医 学 部	外科学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究 2 弁膜症に対する自己弁温存remodeling法術式確立の研究 3 急性解離性動脈瘤に対する病変部からみた手術及び遠隔成績の検討 4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究 5 重症心機能低下症例に対する術後補助手段と人工心臓、心移植の研究 6 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究 7 心臓及び肺移植に対する免疫抑制法、保存法の研究 8 心臓疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究 9 弁膜症に対するHomograft弁の保存法と臨床応用の研究 10 ホモグラフトの耐久性に関する研究 11 虚血心筋に対する再生治療の研究 12 超音波エコーによる脊髄血流評価に関する研究 13 肺癌術後の残存肺における気腫用性変化の研究 14 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 15 胸部疾患に対する胸腔鏡による手術適応拡大の研究 16 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究 17 ロート胸における呼吸機能の研究
	整形外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 骨肉種の成因に関する免疫学的・分子生物学的研究 2 疼痛マーカーのプロテオミクス解析 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 関節の固有感覚受容器に関する研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する研究 6 骨塩量に影響を及ぼす諸因子の研究 7 神経細胞のイオンチャンネルに関する研究 8 脊椎低侵襲手術の開発 9 各種関節鏡視下手術の開発 10 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫療法の開発 11 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 12 スポーツ障害と外傷の予防と治療 13 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 14 アルコール性大腿骨頭壊死の発生機序に関する研究
	脳神経外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPI を用いた functional MRI などの新しい画像診断システムの開発 3 脳健診による脳疾患の予防的治療法の確立 4 グリオーマの免疫療法の研究 5 脊髄損傷の基礎研究 6 血管内手術の基礎的研究 7 脳動脈瘤の遺伝子解析 8 神経幹細胞移植に関する研究 9 脊髄誘発電位の臨床応用 10 神経損傷時の再生に関する研究 11 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 12 術中脳腫瘍標識法の基礎的研究 13 未破裂脳動脈瘤のリスクコミュニケーション研究 14 リスクマネジメント研究

臨床 医 学 部 門	産婦人科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 婦人科疾患の超微形態学的研究 8 子宮内膜症の分子生物学的検討 9 卵巣癌での薬剤耐性克服 10 バイスタンダー効果を応用した遺伝子治療の研究
	小児科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 R Sウイルス感染症に関する研究 2 ウイルス性胃腸炎に関する研究 3 サイトメガロウイルス感染症に関する研究 4 パルボウイルス B 1 9 感染症に関する研究 5 先天性筋緊張性ジストロフィーの遺伝子診断に関する研究 6 脊髄性筋委縮症の遺伝子診断に関する研究 7 新しいカテーテルインターベンション法の開発 8 胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究 9 造血幹細胞移植に関する研究 10 造血幹細胞移植時の移植片対宿主病 (GVHD)の診断と治療に関する研究 11 造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究
	眼科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発 5 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮膚科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 メラニン合成機構の生物学的・分子生物学的機序の解明 2 メラニン形成関連遺伝子の構造と機能の解析 3 皮膚癌・悪性黒色腫の化学療法と標的分子治療法の開発 4 皮膚色素異常症の病態・治療法の分子生物学的アプローチ 5 皮膚創傷治癒の生物学的・分子生物学的機序の研究とその臨床応用 6 皮膚腫瘍の微細構造の画像化と3次元解析 7 紫外線生物学と色素性乾皮病の遺伝子診断 8 メラノーマにおけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究 9 皮膚ウイルス感染症の病態に関する研究
	泌尿器科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 尿路感染症・STDの疫学的研究と臨床的研究 5 尿路粘膜における感染免疫学 6 尿路再生・再建医学 7 男子性機能の基礎的・臨床的研究 8 男子不妊症の成因と治療の研究 9 腎移植・移植免疫 10 性別適合手術

臨床 医 学 部 門	耳 鼻 咽 喉 科 学 座 講	<ul style="list-style-type: none"> 1 高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍・悪性リンパ腫に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究
	神 経 精 神 医 学 座 講	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルコール・依存形成薬物による脳神経回路網の変異および神経幹細胞機能に関する研究 2 神経新生と神経回路網からみた内因性精神疾患（気分障害・統合失調症）の発症と病態に関する研究 3 アルツハイマー病の病態並びに治療法開発（新規向知性薬の探索）に関する研究 4 ヒト高次認知機能と視空間成立機構に関する神経心理学的研究 5 摂食障害の病態解析：低栄養がひきおこす脳神経回路網障害と嗜癖行動の関連性に関する研究 6 国際ネットワークに基づくブレインバンクの構築に関する研究 7 性同一性障害の心理的及び生物学的特徴に関する研究 8 集団精神療法および自助グループに関する臨床研究 9 コンサルテーション・リエゾン精神医学（緩和医療も含む。）に関する研究
	放 射 線 医 学 講 座	<p>< IVR > 部門</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 悪性腫瘍の進展度に関する画像診断を用いた研究 3 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 4 悪性腫瘍に対するIVRおよび化学・放射線併用療法の研究 5 集束超音波エネルギーを用いた悪性腫瘍の治療法の研究 <p>< 核医学部門 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 1 移動性のある臓器における融合画像の研究 2 救急領域における核医学検査の適応拡大に関する研究 <p>< 治療部門 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 1 放射線によるアポトシスの分子機構に関する研究 2 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 3 高精度放射線治療に関する研究 <p>< 診断部門 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 1 肝陰性造影剤を用いた拡散強調画像による微小肝転移描出の研究 2 脾高分解能抗散強調画像に関する研究 3 骨盤臓器の癒着の術前評価の至適撮像法に関する研究 4 M R mammography と病理組織像の比較研究 5 M R angiography による微小血管描出に関する研究 6 C T angiography と血管造影像と比較研究 7 ヨード造影剤の遅発性副作用に関する臨床調査・研究 8 D I C O M画像の医学教育利用に関する研究 9 三次元画像処理方の開発・研究 10 医用デジタル画像保管ネットワークに関する実験・研究 11 遠隔地画像診断実用化に関する研究 12 死亡時画像診断に関する研究

臨床 医 学 部 門	麻酔科学講座	<p><基礎部門></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 周術期疼痛ならびに鎮痛機序の解明 2 癌性疼痛ならびに鎮痛機序の解明 3 気道過敏性モデルにおける各種麻酔薬の作用機序の解明 4 筋弛緩薬の各部位での作用効果 5 虚血心、培養心筋、摘出心筋を用いての各種麻酔薬の作用機序 6 敗血症ショックにおける体液性因子の影響 7 遺伝子多型と麻酔合併症の関係 <p><臨床部門></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 術後鎮痛法の検討 2 周術期血液凝固線溶系の検討 3 吸入麻酔薬・静脈麻酔薬の質の検討 4 超音波ガイド下神経ブロック法の検討 5 麻酔周辺機器の開発・発明 6 敗血症における各種新薬の検討 7 新しい気道確保法の確立
	地域医療総合 医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 Common diseases の診断とマネージメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究
	臨床検査医学 講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 分子機能解析を基盤とした癌の遺伝子診断法に関する研究 2 アポトーシス制御機構の解析に基づいた癌治療効果増強に関する研究 3 感染症の遺伝子タイピングと院内感染対策への応用に関する研究 4 輸血検査の精度向上に関する研究 5 生体内微量物質の高感度検出法に関する研究 6 生体のストレス応答に関する研究 7 新規超音波検査法を用いた心機能評価に関する研究 8 造影超音波法による肝腫瘍の診断能向上に関する研究
	救急・集中治療 医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の臨床的研究 2 人工心肺を用いた心肺脳蘇生法に関する基礎的研究 3 人工心肺を用いた選択的脳低温療法の基礎的研究 4 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の臨床的研究 5 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 6 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 7 重症患者における急性血液浄化法に関する基礎的、臨床的研究 8 ARDSに関する分子生物学的研究 9 ARDSにおけるサーファクタントの研究 10 航空機による救急搬送体制の研究 11 災害医療に関する研究 12 中毒薬理に関する神経科学的研究

臨床医学部門	口腔外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 口腔癌の選択的動注化学療法に関する研究 2 口腔癌の免疫治療に関する研究 3 口腔癌の分子生物学的研究 4 口腔癌の機能温存療法に関する研究 5 口腔癌の低酸素環境下における抗癌剤耐性獲得機序の解析に関する研究 6 顎変形症の形態と機能に関する研究
附属がん研究所	生化学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 神経発生過程における分子メカニズムの解析 2 神経疾患に関する基礎的研究 3 スフィンゴ脂質とその結合タンパク質に関する研究 4 がん細胞の増殖・運動とカルシウムシグナリング
	分子生物学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 ヒト癌の発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の機能の解明 3 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析 4 癌の遺伝子治療の基礎研究 5 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立
	分子病理病態学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 肝臓の再生及び組織再構築に関する研究 2 肝幹（前駆）細胞の増殖と分化に関する研究 3 肝幹（前駆）細胞を用いた肝発生及び組織構造形成に関する研究 4 細胞外基質と疾患に関する研究 5 人工肝臓の基礎的研究
附属臨海医学研究所		<ul style="list-style-type: none"> 1 海洋生物由来抗腫瘍物質に関する研究 2 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析 3 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索 4 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究
教育研究機器センター	分子医学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 遺伝子治療のための基盤技術の開発 2 がんに対する遺伝子治療法の開発 3 難治疾患に対する再生治療・遺伝子治療 4 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用
	分子機能部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト介在試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
動物実験施設部		<ul style="list-style-type: none"> 1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析 2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序 3 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構 4 牛抗菌ペプチドBMAP-28の疾病予防への応用性に関する研究 5 Helicobacter pyloriによる消化性潰瘍の発病機序解析

イ 保健医療学部

看護学科	基礎・臨床医学講	<ol style="list-style-type: none"> 1 免疫細胞分化の多様性と疾患病態との関連 2 ソーティングネキシンファミリーによる高次機能の調節機構 3 化学物質の職業暴露による生殖毒性影響、神経行動機能影響に関する研究 4 超音波の生体に及ぼす影響に関する研究 5 保健医療情報管理に関する研究
	看護学第一講座	<p><基礎看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 4 看護教育・看護管理に関する歴史的研究 <p><成人看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クリティカル看護の教育に関する研究 2 ストレスと生体応答に関する研究 3 リラクゼーション（腹式呼吸およびその他の技法）の介入に関する研究 4 ターミナルケアおよびスピリチュアルケアに関する研究 5 慢性病患者の病いに関する研究
	看護学第二講座	<p><母性看護学/小児看護学/看護管理学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 周産期女性の心理社会的要因に関する研究 2 母性看護学実習に関する研究 3 子育て支援の実践 4 性教育に関する研究 5 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究 6 小児の遊びと発達支援に関する研究 7 病児へ医療処置を説明することとプレパレクション 8 病児をもつ保護者への健康と禁煙支援 9 ヘルスケア向上の医療・看護提供サービスシステムの設計・開発・検証 10 補完代替療法活用の健康増進プログラムの開発や効果に関する研究
	看護学第三講座	<p><地域看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健師活動の理論と実践に関する研究 2 保健師のキャリア発達に関する研究 3 コーチングを用いた保健指導や相談に関する研究 4 育児支援に関する研究 5 不適切な養育（マルトリートメント）の予防と介入に関する研究 6 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 7 コミュニティ・アセスメントに関する研究 8 訪問看護ステーションの基盤強化に関する研究 9 海外渡航者・海外赴任者の健康に関する研究 10 社会的健康被害者に関する研究 <p><老年看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 可動性が低下した高齢者への看護援助に関する研究 2 認知症高齢者の看護援助に関する研究 3 リハビリテーション看護の専門性の確立に関する研究 4 高齢者の安全な生活環境と転倒に関する研究 <p><精神看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害のある人を成員とする家族に関する研究 2 子ども虐待における看護援助に関する研究 3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究 4 患者 - 看護師関係に関する研究 5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究

理学療法学科	基礎理学療法学座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 2 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 3 脳卒中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 4 高齢者の運動機能と健康の関係 5 高齢者の動作・運動制御に関する研究 6 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究、固有受容性神経筋促進治療学(P.N.F)の研究 7 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明及びその治療法の開発 8 運動習慣とNK細胞活性に関する研究
	臨床理学療法学座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 車いす/座位保持装置に関する研究 5 四肢関節・靭帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 6 呼吸理学療法の効果に関する臨床的研究 7 感覚と運動の仕組み、及びそれらを用いた治療に関する神経科学的研究 8 運動器疾患の予防と治療のための運動学的及び疫学的研究 9 スポーツに関する神経科学的研究 10 超音波画像診断を応用した運動器生涯理学療法診断に関する研究 11 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究
作業療法学科	基礎作業療法学座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指動作の解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 遺伝性神経筋疾患の分子遺伝学的研究 7 手指の屈筋腱滑走に関する超音波診断機器を用いた滑走距離の検討 8 演奏家における手指の機能障害に関する研究：調査・動作解析 9 指関節（IP,MP関節）における機械受容器の分布に関する研究
	臨床作業療法学座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 軽度発達障害の障害構造の解明および治療方法の確立 2 神経・精神機能の機構解明とその治療に関する研究 3 精神障害・認知症の作業療法効果に関する研究 4 統合失調症の治療アドヒアランス要因に関する研究 5 うつ病の認知行動療法的介入効果に関する研究 6 青年期アスペルガー症候群のグループ支援に関する研究

ウ 医療人育成センター

教 養 教 育 科 目	哲 学 ・ 倫 理 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 医学哲学・生命倫理学研究 2 科学論研究 3 19世紀以降のヨーロッパ思想史の研究
	心 理 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 心臓血管系血行力学及び自律神経調節機能の無侵襲計測に関連する心理生理学研究 2 心理社会的ストレスに関する心理生理学的研究 3 ストレスマネジメントの心理生理学的研究 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法 学 ・ 社 会 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究 2 生命誕生や死の迎え方など生命倫理に関する基礎的テーマについての研究 3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理 4 アジアの企業におけるHIV/AIDS対策に関する医療人類学研究 5 日本とアメリカの医学・医療系教育における多文化医療教育
	英 語	<ul style="list-style-type: none"> 1 英国ヴィクトリア朝の文学 2 英語学・認知言語学・類型論 3 日本学、日米比較文化論 4 関連性理論に基づく発話の解釈 5 言語接触と変異 - スコットランドの言語社会を中心として -
	運 動 科 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病の予防及び体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究 2 高齢者の医療費、ADL低下の抑制と健康習慣の関係についての研究 3 アスリートのライフマネジメント、並びに摂食障害に関する研究
	物 理 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 放射線防護と緊急被曝医療 2 国民保護のための核防護学 3 医学物理 4 蛋白質タンデムリピートの構造、機能及び分子進化に関する研究 5 X線溶液散乱及び核磁気共鳴測定による蛋白質の立体構造研究
	化 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究 2 アポトシス誘引脂質の合成酵素に関する研究 3 カルモジュリンの立体構造のX線解析による解析研究 4 正確で簡易な抗酸化能評価技術の開発 5 食細胞の生体防御機能の研究 6 非侵襲画像診断法の開発
	生 物 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究 2 線虫類の系統分類学・生態学的研究 3 細胞機能発現におけるジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの役割 4 ビタミンB12の栄養学に関する研究 5 青年期の健康にかかわる調査とそれを基にした「食教育」に関する研究 6 動物の行動発現の生理的作用機序の研究 7 初年次教育
	数 学 ・ 情 報 科 学	<ul style="list-style-type: none"> 1 統計データ解析 2 微分方程式の漸近理論 3 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究 4 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究 5 遠隔保健医療（テレヘルス）システムの構築に関する研究 6 デジタル映像処理と医療・保健応用に関する研究 7 高精度反応時間計測システムの研究開発

エ 寄附講座

緩和医療学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 有効な緩和医療を提供するためのチームアプローチに関する研究 2 有効な緩和医療を提供するための患者評価法に関する研究 3 緩和ケアプログラムの地域介入と緩和ケア均てん化に関する研究 4 オピオイド感受性の個人差と遺伝子多型に関する研究 5 骨がん疼痛に対する新規治療法に関する臨床研究 6 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する臨床研究 7 難治性がん疼痛の神経科学的基盤解明と新たな治療法開発に関する基礎的研究 8 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する基礎的研究
分子標的探索講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 がん細胞におけるTGF /PP2A/P53シグナルの解明に基づくがんの治療法の開発（橋渡し研究） 2 がん細胞・炎症細胞、血管内皮細胞のモテリティシグナルの解明に基づくがん転移、慢性炎症の治療法の開発（橋渡し研究） 3 がん随伴繊維芽細胞を標的とした新規がん治療法の開発 4 膵がんの集学的遺伝子治療 5 大腸がんの化学予防に関する研究 6 組織リモデリングにともなう幹細胞活性化の機構解明

オ 特設講座

神経再生医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 肝細胞の増殖・分化に関する研究 2 肝細胞の分化制御に関する研究 3 肝細胞の癌化に関する研究 4 傷害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 肝細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
----------	--

(9)文部科学省 G P の採択・実施状況

(平成22年10月1日現在)

ア 平成19年度がんプロフェッショナル養成プラン

- (ア)事業名：北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム
- 大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成を目指して -
(イ)年次：平成19年度～平成23年度
(ウ)概要：がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがんに関わるコメディカル等、がんに特化した医療人の養成を行う大学院教育プログラムである。
北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

イ 平成20年度大学病院連携型高度医療人養成推進事業

- (ア)事業名：自立した専門医を育むオール北海道プラス1
(イ)年次：平成20年度～平成24年度
(ウ)概要：専門医を育成し、その専門医が大学あるいは教育病院で指導医として専門研修医の教育にあたるシステムを確立する。この間、道内全3医大間で共有した地域関連教育病院で幅広い一般診療経験を、道外の東京慈恵会医科大学が加わった4大学病院で高度な専門性を習得する。
北海道大学、旭川医科大学、東京慈恵会医科大学と共同申請

ウ 平成20年度戦略的大学連携支援事業

- (ア)事業名：北海道の地域医療の新展開を目指した異分野大学院連携教育プログラムによる人材育成
(イ)年次：平成20年度～平成22年度
(ウ)概要：北海道地域に密着した医療系、工学系、情報系、経営系の異分野の国公立大学が連携し、医療や保健福祉を中心とした地域活性化のための人材育成を行う。
具体的には、各大学の修士課程に連携大学による共通カリキュラムを編成し、各大学の学生が選択する。この横断的な取組により、幅広い能力を身につけた医療マインドを持つ専門職者を育成し地域へ輩出する。
室蘭工業大学、小樽商科大学、北海道医療大学、千歳科学技術大学と共同申請

エ 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム

- (ア)事業名：死亡時画像診断による教育支援プログラム
- 人間性豊かな医師の育成を目指して -
(イ)年次：平成20年度～平成22年度
(ウ)概要：死亡時画像診断(Ai)と病理解剖を行った症例について臨床病理検討会(CPC)に盛り込むことにより、学生に“患者の死”を体験させる。
これを契機とし、医師として必要な生命の尊厳や死生観などの感性を育むとともに、Aiや病理解剖による医学知識を習得させる新しい医学教育プログラムを実施する。

注) GPとは、各大学等が実施する教育改革の取組の中から、他の大学等の参考となるような優れた取組(Good Practice)を選び、支援する文部科学省の大学教育改革促進のためのプログラムです。

(10) 国際交流

ア 国際医学交流

北方圏諸国をはじめとする世界の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を拡充推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、学生が国際的視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学語学研修への派遣、平成21年度からは中国医科大学との臨床実習の相互交流を実施している。

(平成22年10月1日現在)

		フィンランド	カナダ		中国		アメリカ
協定締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トゥルク、オウル、 タンペレ、クピオ大学)	アルバータ大学	カルガリー大学	中国医科大学	佳木斯大学	マサチューセツ 州立大学
開始年度		1977	1983	1984	1982	2008	1994
現協定期限		H19.5-24.5	H21.2-26.2	H20.7-23.6	H22.4-25.3	H20.4-23.3	H22.9-25.8
派遣 (年間)	協定人数	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(30日間)	1名(2週間)
	派遣総数	32名	36名	32名	43名	2名	22名
受入 (年間)	協定人数	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(30日間)	1名(2週間)
	受入総数	32名	29名	31名	36名	2名	9名
その他協定の概要		・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は適当な宿泊施設を手配する。) ・研究成果の報告書の作成が必要。					
学生派遣			【語学研修】 16年度 中止 17年度 12名 18年度 6名 19年度 8名 20年度 9名 21年度 中止 22年度 10名	【臨床研修(血液学)】 16年度 4名 17年度 4名 18年度 4名 19年度 6名 20年度~休止	【臨床実習】 21年度 中止 22年度 2名		

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている(日本人、外国人の区別はない)。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

平成13年度12名 平成14年度15名 平成15年度18名 平成16年度13名 平成17年度17名 平成18年度10名
平成19年度15名 平成20年度13名 平成21年度7名

ウ 教員在外研究等

(平成22年3月31日現在)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	21年度	20年度		21年度	20年度		20年度	19年度
【アジア】			【中東】			【ヨーロッパ】		
インド	1	2	イスラエル		1	イギリス	2	7
インドネシア	2		トルコ	4	1	イタリア	2	3
韓国	17	11	ヨルダン	1	1	オーストリア	5	4
シンガポール	2		【アフリカ】			オランダ	2	
カボネビア		1	エジプト	1	1	ギリシャ		1
スリランカ	1	1	【オセアニア】			クロアチア	2	
タイ	5	4	オーストラリア	6	2	スイス	2	
台湾	9	12	【北米】			スウェーデン	1	1
中国	8	13	アメリカ合衆国	75	65	スペイン	6	2
バングラデシュ	1	1	カナダ		13	セルビア	1	1
ベトナム	3	3	【中南米】			チェコ		1
マレーシア		2	アルゼンチン		2	ドイツ	1	11
ミャンマー	1	1	コスタリカ		1	ハンガリー	1	
モンゴル	1		ブラジル		2	フィンランド	3	1
						フランス	11	1
						ベルギー		3
						ポルトガル	3	5
						合計	181	168

エ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- (1) 会議室(1室)、研修室(2室) セミナーや共同研究に使用する。(研修室の1室は、茶会などにも利用できる和室)
- (2) 多目的ホール(2室) 国際友好・交流に使用する多目的ホール
- (3) 宿泊室(シングル3室、ツイン1室) 外国人研究者が利用できる宿泊室

(11) 標本館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日 - 昭和49年3月31日	三橋 公平 (解剖学第二講座教授)
昭和49年4月1日 - 昭和53年3月31日	八十島 信之助 (法医学講座教授)
昭和53年4月1日 - 昭和57年3月31日	菊地 浩吉 (病理学第一講座教授)
昭和57年4月1日 - 昭和61年3月31日	山崎 英雄 (生物学教授)
昭和61年4月1日 - 昭和63年3月31日	森 道夫 (病理学第二講座教授)
昭和63年4月1日 - 平成2年3月31日	百々 幸雄 (解剖学第二講座教授)
平成2年4月1日 - 平成7年3月31日	高橋 杏三 (解剖学第一講座教授)
平成7年4月1日 - 平成11年3月31日	高森 田匡彦 (法医学講座教授)
平成11年4月1日 - 平成16年3月31日	佐藤 昇志 (病理学第一講座教授)
平成16年4月1日 - 平成18年3月31日	澤田 典均 (病理学第二講座教授)
平成18年4月1日 - 平成22年3月31日	辰巳 治之 (解剖学第一講座教授)
平成22年4月1日 - 現在	松本 博志 (法医学講座教授)

イ 概況

(平成22年5月1日現在)

資 料	区 分	点 数
肉 眼 標 本	発 生 学	83
	解 剖 学	406
	病 理 学	466
	法 医 学	47
	薬 理 学	273
	皮 膚 科	50
	放 射 線 医 学	7
	寄 生 虫 学	52
	生 物 学	23
	模 型	解 剖 学
光 顕 用 ス ラ イ ド 投 影 用 ス ラ イ ド	生 物 学	3,045
	解 剖 学	6,645
	病 理 学	30,005
	法 医 学	6
	内 科	40
	脳 神 経 外 科	101
	眼 科	105
	皮 膚 科	52
	寄 生 虫 学	404
	そ の 他	6
大 切 片 標 本	病 理 学	1,364
医 療 機 器 ・ 医 療 器 具	内 科 学 ・ 一 般 外 科 学 他	479
視 聴 覚 資 料	解 剖 学 ・ 眼 科 学 ・ 内 科 学 他	113
図 書	臨 床 X 線 写 真 診 断 学 大 系	64
	古 医 書 ・ 一 般 医 学 関 係 書	868
そ の 他 の 医 学 資 料	大 学 資 料 ・ 眼 科 学 他	472
合 計		45,214

ウ 利用状況

(平成21年度 単位:人)

利 用 の 内 訳	見 学	情 報 機 器 の 使 用	顕 微 鏡 の 使 用	ビ デ オ 教 材 の 使 用	セ ミ ナ ー 自 習	
学 内	教 職 員	171	29	31	0	48
	学 生	375	4	0	0	269
学 外	医 療 関 係 者	3,621	0	0	2,092	735
計	4,167	33	31	2,092	1,052	

2 学事事項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
昭和25年度	69	44	1.57										
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和33年度		59		951	66	14.41							昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和35年度				995	68	14.63							昭和34年度で北大への委託を修了した
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							
昭和54年度							483	100	4.83				昭和54年度から大学入学者の選抜は、共通第1次学力試験と札幌医科大学の第2次学力試験により行われた
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				
昭和62年度							729	105	6.94				昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
昭和63年度							655	100	6.55				
平成元年度							536	103	5.20				
平成2年度							589	100	5.89				平成2年度から大学入試センター試験実施
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	平成5年度に保健医療学部が設置された
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	平成9年度から入学者選抜の方法が分離分割方式となり、受験機会が複数化された
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							687	100	6.87	449	99	4.54	
平成19年度							709	101	7.02	342	99	3.45	
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							528	110	4.80	256	93	2.75	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	

イ 定員及び現員数

(平成22年5月1日現在 単位:人)

学部	学年	入学定員	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計 現員
			現員		現員		現員		現員		現員		現員		
医学部	医学科	110	110 (32)		111 (26)		104 (29)		104 (29)		101 (32)		101 (44)		631 (192)
保健医療学部	看護学科	50	50 (44)		50 (45)		50 (40)		57 (49)						207 (178)
	編入学生数		0 (0)		0 (0)		0 (0)		0 (0)						0 (0)
	計		50 (44)		50 (45)		50 (40)		57 (49)						207 (178)
	理学療法学科	20	20 (6)		20 (10)		22 (8)		22 (11)						84 (35)
	編入学生数		0 (0)		0 (0)		0 (0)		0 (0)						0 (0)
	計		20 (6)		20 (10)		22 (8)		22 (11)						84 (35)
	作業療法学科	20	21 (15)		21 (14)		22 (14)		24 (14)						88 (57)
	編入学生数		0 (0)		0 (0)		0 (0)		0 (0)						0 (0)
	計		21 (15)		21 (14)		22 (14)		24 (14)						88 (57)
	編入学生総計	90	0 (0)		0 (0)		0 (0)		0 (0)						0 (0)
小計		91 (65)		91 (69)		94 (62)		103 (74)						379 (270)	
学部合計		200	201 (97)		202 (95)		198 (91)		207 (103)		101 (32)		101 (44)		1,010 (462)
医学研究科	博士課程	50	56 (14)		45 (10)		38 (4)		32 (7)		0 (0)				171 (35)
	地域医療人間総合医学	18	13 (5)		9 (4)		10 (0)		11 (1)						43 (10)
	分子・器官制御医学	20	27 (7)		28 (6)		21 (3)		13 (3)						89 (19)
	情報伝達学	12	16 (2)		8 (0)		7 (1)		8 (3)						39 (6)
	修士課程	10	8 (4)		11 (6)										19 (10)
	医科学	10	8 (4)		11 (6)										19 (10)
	小計	60	64 (18)		56 (16)		38 (4)		32 (7)		0 (0)		0 (0)		190 (45)
保健医療学研究科	看護学	博士課程前期	12	7 (7)		9 (9)		0 (0)							16 (16)
	博士課程後期	2	2 (2)		3 (3)		4 (4)								9 (9)
	理学療法・作業療法	博士課程前期	12	12 (3)		15 (3)		0 (0)							27 (6)
	博士課程後期	6	7 (2)		9 (3)		15 (4)								31 (9)
	小計	32	28 (14)		36 (18)		19 (8)								83 (40)
大学院合計		92	92 (32)		92 (34)		57 (12)		32 (7)		0 (0)		0 (0)		273 (85)
総合計		292	293 (129)		294 (129)		255 (103)		239 (110)		101 (32)		101 (44)		1,283 (547)

()内は女子学生数(内数)

ウ 出身地別現員数

(平成22年5月1日現在)

課程	学年	1年			2年			3年			4年		
		出身地 道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計
医学部	人	75	35	110	83	28	111	80	24	104	78	26	104
	%	68.2	31.8	100.0	74.8	25.2	100.0	76.9	23.1	100.0	75.0	25.0	100.0
保健医療学部	人	88	9	97	82	9	91	83	11	94	98	5	103
	%	2933.3	300.0	3233.3	90.1	9.9	100.0	88.3	11.7	100.0	95.1	4.9	100.0
医学研究科	人	51	13	64	41	15	56	33	5	38	24	8	32
	%	79.7	20.3	100.0	73.2	26.8	100.0	86.8	13.2	100.0	75.0	25.0	100.0
保健医療学研究科	人	15	13	28	26	10	36	14	5	19			
	%	53.6	46.4	100.0	72.2	27.8	100.0	73.7	26.3	100.0			
計	人	229	70	299	232	62	294	210	45	255	200	39	239
	%	111.7	34.1	145.9	78.9	21.1	100.0	82.4	17.6	100.0	83.7	16.3	100.0

課程	学年	5年			6年			道内計	道外計	合計
		出身地 道内	道外	小計	道内	道外	小計			
医学部	人	76	25	101	76	25	97	468	163	631
	%	75.2	24.8	100.0	78.4	25.8	104.1	74.2	25.8	100.0
保健医療学部	人							351	28	379
	%							92.6	7.4	100.0
医学研究科	人	4	0	4				153	41	194
	%	100.0	0.0	100.0				78.9	21.1	100.0
保健医療学研究科	人							55	28	83
	%							66.3	33.7	100.0
計	人	80	25	105	76	25	97	1,027	266	1,293
	%	76.2	23.8	100.0	78.4	25.8	104.1	79.4	20.6	100.0

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

区分 卒業年次	卒業生	出身地		区分 卒業年次	卒業生	出身地		区分 卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外			道内	道外
昭和 29 年 (第 1 回)	36	22	14	昭和 49 年 (第 21 回)	84	74	10	平成 6 年 (第 41 回)	99	79	20
昭和 30 年 (第 2 回)	41	35	6	昭和 50 年 (第 22 回)	77	57	20	平成 7 年 (第 42 回)	91	70	21
昭和 31 年 (第 3 回)	47	41	6	昭和 51 年 (第 23 回)	65	54	11	平成 8 年 (第 43 回)	100	74	26
昭和 32 年 (第 4 回)	66	58	8	昭和 52 年 (第 24 回)	80	62	18	平成 9 年 (第 44 回)	101	74	27
昭和 33 年 (第 5 回)	69	60	9	昭和 53 年 (第 25 回)	92	74	18	平成 10 年 (第 45 回)	100	66	34
昭和 34 年 (第 6 回)	58	49	9	昭和 54 年 (第 26 回)	90	81	9	平成 11 年 (第 46 回)	102	80	22
昭和 35 年 (第 7 回)	67	54	13	昭和 55 年 (第 27 回)	94	84	10	平成 12 年 (第 47 回)	100	58	42
昭和 36 年 (第 8 回)	62	54	8	昭和 56 年 (第 28 回)	95	81	14	平成 13 年 (第 48 回)	109	60	49
昭和 37 年 (第 9 回)	59	35	24	昭和 57 年 (第 29 回)	95	84	11	平成 14 年 (第 49 回)	99	58	41
昭和 38 年 (第 10 回)	59	32	27	昭和 58 年 (第 30 回)	107	96	11	平成 15 年 (第 50 回)	94	62	32
昭和 39 年 (第 11 回)	63	54	9	昭和 59 年 (第 31 回)	99	87	12	平成 16 年 (第 51 回)	101	74	27
昭和 40 年 (第 12 回)	65	58	7	昭和 60 年 (第 32 回)	94	90	4	平成 17 年 (第 52 回)	103	72	31
昭和 41 年 (第 13 回)	66	54	12	昭和 61 年 (第 33 回)	97	90	7	平成 18 年 (第 53 回)	95	60	35
昭和 42 年 (第 14 回)	62	58	4	昭和 62 年 (第 34 回)	86	75	11	平成 19 年 (第 54 回)	103	67	36
昭和 43 年 (第 15 回)	62	58	4	昭和 63 年 (第 35 回)	89	79	10	平成 20 年 (第 55 回)	103	73	30
昭和 44 年 (第 16 回)	80	71	9	平成 元年 (第 36 回)	116	96	20	平成 21 年 (第 56 回)	100	62	38
昭和 45 年 (第 17 回)	74	63	11	平成 2 年 (第 37 回)	92	79	13	平成 22 年 (第 57 回)	97	75	22
昭和 46 年 (第 18 回)	78	63	15	平成 3 年 (第 38 回)	101	85	16	合計	4,812	3,797	1,015
昭和 47 年 (第 19 回)	73	60	13	平成 4 年 (第 39 回)	99	84	15				
昭和 48 年 (第 20 回)	69	55	14	平成 5 年 (第 40 回)	107	87	20				

イ 保健医療学部

(単位：人)

区分 卒業年次	看護学 卒業生数	理学療法 卒業生数	作業療法 卒業生数	卒業生数 合計	出身地	
					道内	道外
平成 9 年 (第 1 回)	48	21	19	88	76	12
平成 10 年 (第 2 回)	(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成 11 年 (第 3 回)	61	21	20	102	71	31
平成 12 年 (第 4 回)	(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成 13 年 (第 5 回)	58	22	24	104	79	25
平成 14 年 (第 6 回)	(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成 15 年 (第 7 回)	57	27	24	108	93	15
平成 16 年 (第 8 回)	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 17 年 (第 9 回)	52	21	23	96	83	13
平成 18 年 (第 10 回)	(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成 19 年 (第 11 回)	56	23	23	102	91	11
平成 20 年 (第 12 回)	(4)	(1)	(2)	(7)	(5)	(2)
平成 21 年 (第 13 回)	52	18	19	89	84	5
平成 22 年 (第 14 回)	()	()	()	(0)	()	()
合計	(57)	(21)	(16)	(94)	(77)	(17)
	749	323	303	1,375	1,142	233

1 出身地は学位記載の本籍地による

2 ()内は編入学生数(内数)

(3) 国家試験合格情報

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 98 回 (平成 16 年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成 17 年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第 100 回 (平成 18 年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第 101 回 (平成 19 年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第 102 回 (平成 20 年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第 103 回 (平成 21 年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第 104 回 (平成 22 年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 93 回 (平成 16 年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成 17 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 95 回 (平成 18 年)	45	45	45	100.0	0	0	-	45	45	100.0
第 96 回 (平成 19 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 97 回 (平成 20 年)	49	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 98 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 99 回 (平成 22 年)	55	55	55	100.0	0	0	-	55	55	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 90 回 (平成 16 年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成 17 年)	52	50	46	92.0	0	0	-	50	46	92.0
第 92 回 (平成 18 年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成 19 年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94 回 (平成 20 年)	49	47	46	97.9	0	0	-	47	46	97.9
第 95 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第 96 回 (平成 22 年)	55	55	54	98.2	0	0	0.0	55	54	98.2

エ 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 39 回 (平成 16 年)	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 40 回 (平成 17 年)	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第 41 回 (平成 18 年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第 42 回 (平成 19 年)	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第 43 回 (平成 20 年)	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 44 回 (平成 21 年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第 45 回 (平成 22 年)	23	23	18	78.3	0	0	-	23	23	100.0

オ 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 39 回 (平成 16 年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 40 回 (平成 17 年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第 41 回 (平成 18 年)	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第 42 回 (平成 19 年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 43 回 (平成 20 年)	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第 44 回 (平成 21 年)	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第 45 回 (平成 22 年)	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8

(4) 研究生数

(平成22年5月1日現在 単位:人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学	解剖学第一	3	1	医学部臨床	内科学第一	22	14
	解剖学第二	4	2		内科学第二	28	12
	細胞生理学				内科学第三	26	17
	神経科学				内科学第四	7	3
	医学化学				神経内科学	6	
	生化学				外科学第一	11	5
	病理学第一	5			外科学第二	2	1
	病理学第二	1			整形外科学	13	3
	微生物学				脳神経外科学	2	1
	薬理学				産婦人科学	6	
	衛生学				小児科学	15	5
	公衆衛生学				眼科学	5	
	法医学				皮膚科学	6	1
	がん研生化学				泌尿器科学	5	
がん研分子生物学			耳鼻咽喉科学	7			
がん研分子病理病態学	2		神経精神医学	16	1		
臨海医学研究所			放射線医学	9			
教育研究機器センター	1		麻酔科学	11			
動物実験施設部			地域医療総合医学				
附属総合情報センター	1		臨床検査医学				
基礎医学計	17	3	救急・集中治療医学	17	11		
保健医療学部	看護学			医学部	口腔外科学	9	3
	理学療法学				産科周産期科学		
	作業療法学				形成外科学	2	
	保健医療学部計	0	0		医療薬学		
医療人育成センター	物理学	1	1	病理診断学	1		
	生物学			リハビリテーション医学	4		
	化学	3		臨床医学計	230	77	
	医療人育成センター計	4	1	医学部計	247	80	
合計						251	81

(5) 修士及び博士(医学)の学位授与者数

年度	区分 専攻 学位	修士 課程 医 科 学	本学大学院修了者(博士課程)								計	一 般 論 文 提 出 者	合 計
			生 理 系	病 理 系	社 会 医 学 系	内 科 系	外 科 系	総 合 医 学 間	地 域 医 療 人 学	御 分 子 ・ 器 官 学			
昭和34年度~ 平成12年度			49	81	16	228	297				671	1,325	1,996
平成13年度			1			11	16				28	48	76
平成14年度			3	2		11	16				32	37	69
平成15年度				3		11	18				32	43	75
平成16年度						1	2	14	26	4	47	43	90
平成17年度								17	33	2	52	19	71
平成18年度						1		13	19	17	50	17	67
平成19年度								4	11	5	20	30	50
平成20年度								10	16	5	31	21	52
平成21年度		7						10	11	7	28	17	45
計		7	53	86	16	263	349	68	116	40	991	1600	2591

(6) 修士及び博士(保健医療学)の学位授与者数

年度	区分 専攻 学位	本学大学院修了者						計
		修士課程			博士課程			
		看護学	理学療法学・作業療法学		看護学	理学療法学・作業療法学		
平成11年度		9	6	3			18	
平成12年度		6	4	3			13	
平成13年度		4	5	5			14	
平成14年度		8	8	3		1	23	
平成15年度		6	2	3		2	14	
平成16年度		6	6	7		1	21	
平成17年度		7	7	4		1	23	
平成18年度		5	7	3		2	21	
平成19年度		7	9	3		3	24	
平成20年度		8	3	7	2		21	
平成21年度		4	7	3	0	1	18	
計		70	64	44	2	11	210	

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学教室の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事落成
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事落成
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事落成
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事落成
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事落成
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター - 指定
平成11年3月24日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センター - を設置
平成14年10月1日	高度救命救急センター - を設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター - 指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	N I C Uを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	-	昭和35年3月31日	瀧 本 庄 蔵
昭和35年4月1日	-	昭和39年3月31日	南 浦 邦 夫
昭和39年4月1日	-	昭和41年3月31日	高 山 坦 三
昭和41年4月1日	-	昭和45年3月31日	末 吉 利 三
昭和45年4月1日	-	昭和49年3月31日	浜 谷 松 夫
昭和49年4月1日	-	昭和51年3月31日	立 野 誠 吾

昭和51年4月1日	-	昭和53年3月31日		橋	場	輝	芳
昭和53年4月1日	-	昭和55年2月8日		河	邨	文	一郎
昭和55年2月9日	-	昭和55年2月29日	(事務代理)	神	村	瑞	夫
昭和55年3月1日	-	昭和57年3月31日		神	村	瑞	夫
昭和57年4月1日	-	昭和61年2月8日		漆	崎	一	朗
昭和61年2月9日	-	昭和61年2月28日	(事務代理)	熊	本	悦	明
昭和61年3月1日	-	平成2年2月28日		小	松	作	蔵
平成2年3月1日	-	平成4年2月8日		谷	内		昭
平成4年2月9日	-	平成4年2月29日	(事務取扱)	谷	内		昭
平成4年3月1日	-	平成8年2月29日		飯	村		攻
平成8年3月1日	-	平成10年2月28日		形	浦	昭	克
平成10年3月1日	-	平成12年2月29日		千	葉	峻	三
平成12年3月1日	-	平成14年2月28日		工	藤	隆	一
平成14年3月1日	-	平成16年2月29日		並	木	昭	義
平成16年3月1日	-	平成20年3月31日		島	本	和	明
平成20年4月1日	-	現 在		塚	本	泰	司

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
第一内科		33,291	33,238	31,564	17,707	17,241	16,935
第二内科		41,364	43,594	46,276	19,219	17,644	17,281
第三内科		13,420	14,764	15,483	15,234	15,507	14,864
第四内科		24,184	23,228	23,879	19,820	18,727	23,265
神経内科		12,179	12,161	10,728	7,454	7,397	8,267
第一外科		15,140	16,481	16,912	16,995	17,945	17,753
第二外科		5,290	5,588	5,854	11,581	11,224	11,030
整形外科		29,351	29,866	29,560	17,862	18,464	18,996
脳神経外科		11,648	11,902	11,953	12,800	11,343	11,466
婦人科		17,930	17,229	18,197	15,212	14,060	13,424
産科周産期科		3,197	2,816	2,357	9,334	11,343	11,693
小児科		11,074	11,722	12,653	11,587	9,187	10,329
眼科		34,464	33,501	28,758	14,079	13,463	12,120
皮膚科		26,585	27,157	28,512	8,983	9,766	9,208
形成外科		8,862	7,370	6,597	5,987	5,520	5,585
泌尿器科		17,879	19,032	19,206	9,715	10,503	10,076
耳鼻咽喉科		27,357	26,881	26,321	13,816	12,081	11,169
神経精神科		27,716	25,857	26,228	13,952	11,414	12,038
放射線科		34,024	34,880	38,530	13,564	12,996	11,839
麻酔科		12,121	13,597	12,869	2,259	1,892	1,561
総合診療科		4,491	4,392	3,852	578	689	99
歯科口腔外科		23,296	26,120	27,922	10,820	11,195	11,985
リハビリテーション科		34,161	36,302	38,389	4,083	4,441	5,073
救急集中治療部		806	471	796	8,522	4,166	6,150
計		469,830	478,149	483,396	281,163	268,208	272,206

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
第一内科		135.9	136.8	130.4	48.4	47.2	46.4
第二内科		168.8	179.4	191.2	52.5	48.3	47.3
第三内科		54.8	60.8	64.0	41.6	42.5	40.7
第四内科		98.7	98.7	98.7	54.2	51.3	63.7
神経内科		49.7	50.0	44.3	20.4	20.3	22.6
第一外科		61.8	67.8	69.9	46.4	49.2	48.6
第二外科		21.6	23.0	24.2	31.6	30.8	30.2
整形外科		119.8	122.9	122.1	48.8	50.6	52.0
脳神経外科		47.5	49.0	49.4	35.0	33.5	31.4
婦人科		73.2	70.9	75.2	41.6	38.5	36.8
産科周産期科		13.0	11.6	9.7	25.5	31.1	32.0
小児科		45.2	48.2	52.3	31.7	25.2	28.3
眼科		140.7	137.9	118.8	38.5	36.9	33.2
皮膚科		108.5	111.8	117.8	24.5	26.8	25.2
形成外科		36.2	30.3	27.3	16.4	15.1	15.3
泌尿器科		73.0	78.3	79.4	26.5	28.8	27.6
耳鼻咽喉科		111.7	110.6	108.8	37.7	33.1	30.6
神経精神科		113.1	106.4	108.4	38.1	31.3	33.0
放射線科		138.9	143.5	159.2	37.1	35.6	32.4
麻酔科		49.5	56.0	53.2	6.2	5.2	4.3
総合診療科		18.3	18.1	15.9	1.6	1.9	0.3
歯科口腔外科		95.1	107.5	115.4	29.6	30.7	32.8
リハビリテーション科		139.4	149.4	158.6	11.2	12.2	13.9
救急集中治療部		3.3	1.9	3.3	23.3	11.4	16.8
計		1,917.7	1,970.8		768.2	737.5	745.4

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区分	年度	平成19年度			平成20年度			平成21年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単純撮影	39,472	37,560	77,032	36,780	31,408	68,188	28,549	35,290	63,839
	断層撮影			0			0			0
	造影検査	2,394	610	3,004	2,251	705	2,956	2,311	684	2,995
	血管造影	2,459	350	2,809	1,938	225	2,163	1,610	185	1,795
	乳腺撮影	30	959	989	40	920	960	91	2,294	2,385
	骨塩検査	221	929	1,150	169	1,006	1,175	142	961	1,103
	C T 検査	10,574	12,544	23,118	10,033	13,921	23,954	10,116	14,540	24,656
	M R 検査	2,262	4,905	7,167	2,599	6,078	8,677	2,829	6,712	9,541
	R I 検査	1,714	1,476	3,190	1,535	2,175	3,710	1,319	1,384	2,703
	P E T / C T							44	680	2,256
	画像出力			1,860			2,256			2,313
	P E T / C T 放射線治療			18,336			16,821			19,112
	合計	59,126	59,333	138,655	55,345	56,438	130,860	47,011	62,730	134,954
画像出力枚数	半切			1,906			1,421			946
	B	4		163			124			75
	乳腺用			1,984			2,299			2,217
	C D / D V D			1,266			1,820			2,031
	合計			5,319			5,664			5,269

平成17年5月より、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなりました。画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っています。

イ 検査部・病理部・医療材料部検査件数

区分	年度	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数
血液検査		241,141	7,382,891	230,433	6,762,064	217,979	6,294,383
緊急検査		1,419,379	21,018,472	1,487,781	21,863,838	1,648,638	25,740,003
尿検査		141,012	3,991,208	139,938	3,851,726	142,426	3,985,227
輸血検査		67,988	2,866,908	56,913	2,401,166	61,456	2,628,363
細菌検査		46,368	4,287,155	54,510	5,460,220	59,344	6,486,500
生化学検査		1,416,117	31,020,346	1,283,040	29,456,135	1,171,068	28,944,828
血清検査		96,394	7,394,328	95,273	7,016,240	92,842	7,184,034
遺伝子検査		3,716	1,513,450	3,876	1,660,260	3,713	1,811,640
生理機能検査		37,583	10,643,910	38,980	10,175,375	40,122	10,298,620
検体検査管理加算料		366,346	43,864,140	394,798	48,760,047	388,809	44,958,589
感染対策および研究協力等						243	
検査部合計		3,836,044	133,982,808	3,785,542	137,407,071	3,826,640	138,332,187
機器診断部合				-	-	-	-
病理部	病理検査	19,702	11,178,890	18,971	10,575,540	19,518	11,013,100
	病理診断料	11,105	4,553,050	10,866	4,563,720	10,599	4,345,590
病理部合計		30,807	15,731,940	29,837	15,139,260	30,117	15,358,690
医療材料部合		5,706	10,054,145	5,745	11,032,653	5,989	11,190,050
総合計		3,872,557	159,768,893	3,821,124	163,578,984	3,862,746	164,880,927

*平成19年10月から機器診断部のうち、内視鏡を除く生理機能検査が検査部に、内視鏡検査が医療材料部に統合されました。

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数(入院)

科別	平成 19 年 度			平成 20 年 度			平成 21 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	11,407	25,005	179,257	11,224	23,787	169,017	11,429	24,220	175,116
第二内科	13,947	36,691	278,563	13,325	35,121	250,317	12,971	35,373	253,501
第三内科	8,621	20,190	130,133	9,369	20,916	132,982	8,267	17,358	116,206
第四内科	11,294	25,333	160,707	10,964	26,033	174,746	13,725	32,344	219,515
神経内科	4,925	9,613	66,559	5,107	10,468	79,497	5,900	11,888	82,073
第一外科	12,435	21,498	124,721	12,648	22,246	126,866	12,780	23,579	150,703
第二外科	9,851	19,623	121,222	8,878	19,361	117,806	9,452	19,882	124,810
整形外科	8,150	14,097	93,967	8,610	16,140	112,433	8,483	18,064	135,816
脳神経外科	6,666	12,873	89,593	6,686	12,887	98,885	6,380	12,578	89,580
婦人科	10,029	13,358	70,115	8,900	11,939	62,494	8,945	11,661	63,736
産科周産期科	4,588	5,251	23,745	6,302	7,967	33,861	6,445	8,274	39,700
小児科	6,604	11,910	67,339	4,921	9,951	64,050	6,298	12,181	72,507
眼科	9,868	17,419	57,353	9,865	18,068	56,177	9,108	16,176	50,258
皮膚科	7,386	12,982	74,133	7,990	14,631	97,378	8,383	14,960	99,239
形成外科	2,610	4,114	25,107	2,333	3,737	20,840	2,063	3,537	20,781
泌尿器科	5,331	7,489	41,601	6,140	9,648	57,601	6,068	10,487	62,720
耳鼻咽喉科	9,027	15,622	92,727	7,404	12,729	79,323	7,784	13,582	88,486
神経精神科	10,110	22,984	149,172	7,720	17,186	117,808	8,242	18,726	129,066
放射線科	6,778	12,646	83,906	6,672	12,202	90,297	6,142	10,503	76,568
麻酔科	1,454	3,119	26,277	1,383	2,908	25,146	1,240	2,158	19,367
総合診療科	407	947	6,382	576	1,125	7,530	176	386	3,154
歯科口腔外科	5,820	7,675	31,360	6,394	8,536	36,908	8,126	10,775	63,516
リハビリテーション部	1,740	4,401	36,150	1,942	5,042	44,323	2,149	5,369	47,337
救急部	5,655	9,549	49,293	3,834	6,694	35,361	4,335	6,929	31,532
集中治療部	2,501	4,051	17,732	2,086	2,955	13,057	2,433	3,465	15,253
計	177,204	338,440	2,097,114	171,273	332,277	2,104,703	177,324	344,455	2,230,540

(イ) 年間調剤延数(外来)

科別	平成 19 年 度			平成 20 年 度			平成 21 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	2,014	11,699	306,443	1,655	10,247	291,528	1,797	10,960	316,377
第二内科	1,931	12,007	353,985	1,976	12,541	370,983	2,041	12,696	413,609
第三内科	659	3,845	82,292	617	3,310	76,686	730	3,558	87,334
第四内科	747	2,967	64,531	840	3,932	82,887	1,319	7,004	146,118
神経内科	246	812	26,464	236	812	23,410	312	1,028	27,269
第一外科	580	1,463	36,773	513	1,347	35,416	749	2,518	60,340
第二外科	226	1,244	36,715	211	1,362	43,019	247	1,376	43,869
整形外科	779	2,010	52,429	823	2,168	52,951	894	2,075	55,203
脳神経外科	632	1,983	68,199	598	2,095	74,264	669	2,291	85,011
婦人科	132	209	4,341	119	199	3,963	142	218	4,713
産科周産期科	51	71	442	56	85	558	43	66	466
小児科	303	1,057	23,855	216	817	17,531	163	550	9,952
眼科	1,026	2,195	18,751	859	1,725	16,127	878	1,874	21,021
皮膚科	2,484	5,653	74,195	2,766	6,270	86,437	3,165	6,884	95,876
形成外科	371	628	9,961	245	384	7,250	171	286	5,675
泌尿器科	331	610	18,035	440	820	20,057	522	1,237	27,453
耳鼻咽喉科	417	857	17,509	450	942	16,806	417	877	17,416
神経精神科	1,940	8,203	197,923	1,648	6,791	180,815	1,555	6,330	171,067
放射線科	69	193	2,786	67	191	3,218	68	194	4,141
麻酔科	1,528	8,512	141,226	1,477	7,284	130,647	1,397	6,595	129,034
総合診療科	36	101	1,835	22	54	890	18	47	1,270
歯科口腔外科	405	676	8,969	452	703	9,005	526	752	7,413
リハビリテーション部	896	3,965	79,063	924	4,024	88,146	951	3,965	89,207
救急部	31	59	297	10	17	75	7	10	87
集中治療部									
計	23,356	91,671	2,021,644	17,834	71,019	1,627,019	18,781	73,391	1,819,921

(ウ) 年間注射処方せん延数

科別	平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	23,333	47,915	106,180	23,397	53,156	112,680	22,829	56,502	110,220
第二内科	19,853	38,082	100,577	20,085	41,752	119,112	17,098	33,910	103,764
第三内科	11,143	22,863	57,754	11,987	23,998	56,012	9,831	20,407	47,278
第四内科	30,420	71,025	178,780	25,521	59,328	132,972	32,069	74,080	164,644
神経内科	4,286	8,033	17,451	23,732	44,101	86,560	3,967	7,240	13,886
第一外科	23,646	42,999	90,391	15,428	31,729	81,282	23,426	47,144	88,252
第二外科	16,813	30,994	98,366	13,375	25,158	44,348	15,680	31,061	64,366
整形外科	12,680	23,548	38,646	7,892	14,669	28,391	13,113	25,992	41,096
脳神経外科	7,712	14,864	28,940	9,282	15,232	54,770	8,122	15,335	31,355
婦人科	9,706	23,023	48,130	8,902	20,636	45,111	8,581	19,876	43,834
産科周産期科	7,153	11,110	29,413	9,192	20,761	85,528	8,575	13,455	41,546
小児科	14,281	32,315	129,519	4,814	7,309	12,239	11,545	27,627	100,330
眼科	4,945	7,505	14,277	5,481	10,689	21,822	4,509	6,785	10,276
皮膚科	6,088	11,354	23,192	10,738	23,772	44,730	7,932	16,740	32,897
形成外科	3,185	5,636	16,177	8,337	15,082	25,844	2,647	5,740	11,602
泌尿器科	9,005	19,255	39,281	1,851	2,635	5,096	10,370	25,020	44,586
耳鼻咽喉科	9,718	17,076	34,360	6,595	12,458	25,208	8,052	15,767	25,413
神経精神科	3,071	5,390	9,701	1,075	1,709	2,851	3,474	6,223	10,344
放射線科	7,886	16,215	38,465	7,949	11,733	20,441	5,876	11,342	22,322
麻酔科	1,800	2,453	4,805	443	694	1,096	518	858	1,314
総合診療科	519	898	1,591	3,918	7,618	15,122	66	93	195
歯科口腔外科	8,064	11,718	23,068	1,947	3,726	9,002	8,721	12,634	23,287
リハビリテーション部	397	537	1,070	421	624	1,141	617	1,032	1,270
救急部									
集中治療部									
計	235,704	464,808	1,130,134	222,362	448,569	1,031,358	227,618	474,863	1,034,077

(エ) 年間院外処方延数

科別	平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	19,124	98,929	3,259,170	18,773	100,726	3,478,487	17,805	96,574	3,505,669
第二内科	27,426	147,552	5,057,667	28,340	152,308	5,424,893	29,961	163,105	5,936,561
第三内科	8,200	33,145	801,580	8,808	34,219	864,499	8,922	34,088	893,479
第四内科	13,618	57,880	1,569,824	12,682	55,566	1,625,283	11,984	51,253	1,628,252
神経内科	7,680	30,377	1,089,149	7,440	29,932	1,134,036	6,229	26,791	1,013,710
第一外科	5,800	14,895	549,781	6,346	16,813	619,809	6,124	15,976	627,518
第二外科	1,674	8,669	268,392	1,737	9,096	294,096	1,803	9,787	328,609
整形外科	10,777	23,176	683,641	10,819	23,780	699,710	10,723	23,269	674,137
脳神経外科	4,320	12,565	541,805	4,253	12,583	573,629	4,182	12,477	579,786
婦人科	4,581	8,729	251,501	4,690	8,327	240,300	4,748	8,324	252,193
産科周産期科	1,122	1,532	16,795	1,163	1,509	15,846	1,329	1,853	21,309
小児科	5,967	15,390	416,156	6,911	19,066	485,374	7,109	20,611	530,966
眼科	14,674	28,905	289,302	15,088	30,899	308,894	13,951	28,593	314,591
皮膚科	13,544	37,283	565,170	13,738	37,204	599,740	14,575	39,631	647,529
形成外科	1,187	1,690	21,708	1,076	1,516	21,560	1,033	1,390	16,658
泌尿器科	5,374	8,569	294,590	5,671	9,171	342,348	5,762	9,496	380,727
耳鼻咽喉科	11,713	25,690	646,978	11,470	25,912	685,960	11,200	25,452	692,591
神経精神科	19,895	74,084	1,730,337	19,682	72,976	1,806,484	19,993	76,582	1,889,421
放射線科	1,173	3,144	73,511	1,185	2,995	79,951	1,367	2,759	88,324
麻酔科	2,762	12,724	251,422	3,489	16,059	302,128	3,275	14,490	318,671
総合診療科	3,587	14,220	335,587	3,303	11,879	315,396	2,912	10,308	290,218
歯科口腔外科	4,639	6,837	95,005	5,658	8,100	112,021	5,646	8,252	118,985
リハビリテーション部	2,566	9,373	187,646	2,461	8,967	194,002	2,554	9,121	202,143
救急部	47	153	2,454	51	157	2,064	46	186	3,066
集中治療部									
計	185,208	645,057	17,717,694	191,450	675,511	18,999,171	193,233	690,368	20,955,113

工 手術部手術件数

(単位：件)

科 別 \ 年 度	平成19年度	平成 20 年 度	平成 21 年 度
第 一 内 科	13	9	10
第 二 内 科	3	3	1
第 三 内 科	-	-	1
第 四 内 科	6	8	11
神 經 内 科	5	2	1
第 一 外 科	561	594	583
第 二 外 科	560	560	619
整 形 外 科	763	785	787
脳 神 經 外 科	296	259	279
婦人科・産科周産期科	640	680	754
小 児 科	4	5	3
眼 科	1,380	1,349	1,223
皮 膚 科	305	283	283
形 成 外 科	539	502	424
泌 尿 器 科	459	462	427
耳 鼻 咽 喉 科	498	473	458
神 經 精 神 科	121	55	64
放 射 線 科	-	-	-
麻 酔 科	78	39	40
総 合 診 療 科	-	-	-
歯 科 口 腔 外 科	532	539	525
リハビリテーション科	-	-	-
救急集中治療部	191	78	105
合 計	6,954	6,685	6,598

* 形成外科の他科手術分含む。

(5) 分娩件数

区 分	平成 19年度	平成20年度	平成21年度
件 数	286	314	310

(6)病床数 (平成22年10月1日現在)

病棟別病床数

病棟名	室数	床数	特等		一等		一般		1床部屋	2床部屋	3床部屋	4床部屋	5床部屋	6床部屋	8床部屋	10床部屋	11床部屋
			室数	床数	室数	床数	室数	床数									
11階北病棟(第2内科・共用)	12	52			2	2	10	50	2	2		1		7			
11階南病棟(第3内科・共用)	14	51					14	51	4	1	3			6			
10階北病棟(第4内科・共用)	15	52	1	1	1	1	13	50	6	2				7			
10階南病棟(第1内科・共用)	15	51			2	2	13	49	4	4	1			6			
9階北病棟(皮膚科・形成外科・共用)	15	50			1	1	14	49	4	5				6			
9階南病棟(耳鼻咽喉科・内科共用)	15	50			1	1	14	49	5	3	1			6			
8階北病棟(脳神経外科・神経内科・共用)	14	43					14	43	3	4	1	1	5				
8階南病棟(整形外科・共用)	14	51			2	2	12	49	5	2				7			
7階北病棟(眼科・共用)	12	50			3	3	9	47	3	1	1			7			
7階南病棟(小児棟)	13	41					13	41	5	1		1	6				
6階北病棟(婦人科・共用)	14	49	1	1			13	48	4	3	1			6			
6階南病棟(産科周産期、生殖内分泌科・共用)	9	37			1	1	8	36	1	3				5			
5階北病棟(第2外科・共用)	14	44	1	1	2	2	11	41	3	4		2	5				
5階南病棟(第1外科・共用)	14	51					14	51	3	3	2			6			
4階北病棟(神経精神科)	14	42					14	42	4	4			6				
4階南病棟(泌尿器科・麻酔科・共用)	14	42			2	2	12	40	3	5		1	5				
3階中央病棟(リハ科・神経内科・共用)	11	40					11	40		5			6				
2階南病棟(歯科口腔外科・共用)	13	42			2	2	11	40	4	2		1	6				
1階南病棟(放射線科・共用)	21	48			2	3	19	45	9	7			5				
高度救命救急センター(救急集中治療部)	5	36					5	36					1	2	1		1
集中治療部門(救急集中治療部)	5	16					5	16	2	2						1	
合計	273	938	3	3	21	22	249	913	74	63	10	7	45	71	1	1	1

1)集中治療部門には人工透析室(6床)が設置している。

2)等級別室料差額料金 特等:10,500円、一等:5,250円

診療科別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
第1内科	51	脳神経外科	38	耳鼻咽喉科	50	形成外科	20
第2内科	52	産科周産期科	37	神経精神科	42	救急部	36
第3内科	51	婦人科	49	放射線科	48	総合診療科	-
第4内科	52	小児科	41	麻酔科	5	集中治療部	16
第1外科	51	眼科	50	歯科口腔外科	37		
第2外科	44	皮膚科	30	リハビリテーション科	16		
整形外科	51	泌尿器科	42	神経内科	29		
合計							938

特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
結核病床	11階南病棟	6
R1病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	11
	集中治療部門	10
CCU	集中治療部門	3
クリーンルーム	集中治療部門	3
NICU	6階南病棟	6
GCU	6階南病棟	6

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

科 別	年 度		平 成 1 9 年 度			平 成 2 0 年 度			平 成 2 1 年 度		
	性 別		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科			3	3	6	1	1	2	2	1	3
第 二 内 科			2	1	3		2	2	3	3	6
第 三 内 科			6	1	7	3	2	5	1	1	2
第 四 内 科			1	2	3	1	1	2	4	1	5
神 經 内 科			2		2	2	2	4			
第 一 外 科			2	1	3	1		1	2	1	3
第 二 外 科			2		2	2		2			
整 形 外 科					0						
脳 神 經 外 科			1						1		1
婦 人 科							1	1			
産 科 周 産 期 科				1							
小 児 科					0						
眼 科											
皮 膚 科				1	1	1		1			
形 成 外 科			2								
泌 尿 器 科						4		4	1	1	2
耳 鼻 咽 喉 科											
神 經 精 神 科											
放 射 線 科						1		1			
麻 酔 科											
総 合 診 療 科			1			1		1			
歯 科 口 腔 外 科				1					1		1
リハビリテーション科											
救 急 集 中 治 療 部			4	2	6	1	1	2	1	2	3
院 外			2	2	4	4	2	6	4	2	6
計			28	15	37	22	12	34	20	12	32

(8) 医療相談状況 (平成 2 1 年度)

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	第	第	第	第	神	第	第	整	脳	婦	産	小	眼	皮	形	泌	耳	神	放	麻	総	歯	シ	リ	救	そ	合
		一	二	三	四	経	一	二	形	神	人	科	産	児	科	膚	成	尿	鼻	精	射	酔	合	科	リ	ハ	急	の
入院	新規	122	141	49	93	86	82	73	96	74	41	67	50	65	35	21	64	73	39	26	4	0	68	20	65	12	1,466	
	継続	211	202	79	163	194	68	202	70	101	74	157	482	123	37	72	63	149	94	39	2	1	60	103	19	3	2,768	
	計	333	343	128	256	280	150	275	166	175	115	224	532	188	72	93	127	222	133	65	6	1	128	123	84	15	4,234	
外来	新規	162	63	52	57	70	44	19	214	52	115	40	37	123	32	39	30	64	83	39	9	4	51	27	12	19	1,457	
	継続	339	195	73	267	174	96	68	122	112	100	89	175	92	48	48	44	88	217	32	19	12	62	130	6	3	2,611	
	計	501	258	125	324	244	140	87	336	164	215	129	212	215	80	87	74	152	300	71	28	16	113	157	18	22	4,068	
合計		834	601	253	580	524	290	362	502	339	330	353	744	403	152	180	201	374	433	136	34	17	241	280	102	37	8,302	
備考		新規		2,923		件		35%		継続		5,379		件		65%		計		8,302		件		(100.0%)				

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相談内容		件数(延べ)	構成比	備考
小児医療関係	育成医療	623	3.9%	
	小児慢性特定疾患	302	1.9%	
	養育医療・その他	126	0.8%	
医療費支払援助		2,404	15.0%	
生活保護法関係		605	3.8%	
障害福祉関係		1,031	6.4%	
老人福祉関係		93	0.6%	
介護保険関係		390	2.4%	
特定疾患医療		936	5.8%	
労働災害関係		86	0.5%	
健康保険関係		1,875	11.7%	
年金・手当関係		691	4.3%	
家族問題		460	2.9%	
就職・社会復帰		166	1.0%	
退院・転院援助		353	2.2%	
院内連絡調整		2,056	12.8%	
院外連絡調整		1,246	7.8%	
受診援助・指導		673	4.2%	
その他		1,390	8.6%	
心理判定・カウンセリング		566	3.5%	
計		16,072	100.0%	

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成19年度	15,296,142,853	3,171,372,806	18,467,515,659	82.8	17.2	100.0
平成20年度	14,846,436,573	3,518,175,733	18,364,612,306	80.8	19.2	100.0
平成21年度	15,243,576,895	3,803,134,617	19,051,711,512	80.0	20.0	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度
	入院	外来			
初診料	入院	外来	7,611,132	5,998,631	7,457,795
	外	来	57,622,616	56,431,300	55,957,086
再診料	外	来	227,892,776	230,836,863	230,791,164
医学管理料等・在宅医療	入院	外来	57,337,194	63,298,758	62,577,496
	外	来	237,049,766	259,182,741	254,327,686
検査料	入院	外来	259,816,697	250,187,812	263,074,861
	外	来	874,610,361	917,855,138	932,756,272
画像診断料	入院	外来	131,511,669	146,145,016	153,803,646
	外	来	572,699,171	708,392,245	734,986,951
投薬料	入院	外来	201,440,772	214,298,279	235,190,275
	外	来	259,812,564	295,853,681	359,967,599
注射料	入院	外来	524,957,064	508,173,992	569,469,810
	外	来	421,991,338	510,830,830	668,339,802
処置料	入院	外来	198,675,014	136,081,217	166,361,196
	外	来	34,857,550	36,411,592	33,847,808
手術・麻酔	入院	外来	4,385,359,377	4,161,171,681	4,340,679,635
	外	来	103,745,827	92,619,927	82,959,523
その他	入院	外来	336,738,913	402,138,911	407,182,014
	外	来	381,090,837	409,761,416	454,200,726
入院料(出来高部分)	入	院	1,983,499,699	1,937,295,658	2,095,299,765
入院料(DPC部分)	入	院	6,722,955,680	6,551,498,100	6,472,084,410
室料差額	入	院	40,430,250	37,390,500	37,553,250
食事	入	院	445,809,392	432,758,018	432,842,742
計	入院	外来	15,296,142,853	14,846,436,573	15,243,576,895
	外	来	3,171,372,806	3,518,175,733	3,808,134,617

4 医学部附属がん研究所

(1) 沿革

昭和28年4月	がん研究所が設置され研究を開始
昭和30年7月	附属病院内にがん相談所を設置
昭和30年9月1日	札幌医科大学附属がん研究所設置
昭和35年10月	病理学部門、内科学部門を設置
昭和44年4月1日	分子生物学部門を設置
昭和52年8月	札幌医科大学附属がん研究所新築
昭和56年4月1日	生化学部門を設置、内科学部門を廃止
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属がん研究所に名称変更
平成14年4月1日	病理学部門を分子病理病態学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

昭和30年11月1日 - 昭和36年3月31日	中川 諭
昭和36年4月1日 - 昭和40年3月31日	新保 幸太郎
昭和40年4月1日 - 昭和41年3月31日	(所長事務代理) 小野江 為 則
昭和41年4月1日 - 昭和45年3月31日	塚田 英 之
昭和45年4月1日 - 昭和49年3月31日	漆崎 一 朗
昭和49年4月1日 - 昭和53年3月31日	藤 永 蕙
昭和53年4月1日 - 昭和57年3月31日	塚田 英 之
昭和57年4月1日 - 昭和61年3月31日	藤 永 蕙
昭和61年4月1日 - 昭和63年3月31日	塚田 英 之
昭和63年4月1日 - 平成4年3月31日	藤 永 蕙
平成4年4月1日 - 平成6年3月31日	望月 洋 一
平成6年4月1日 - 平成9年3月31日	藤 永 蕙
平成9年4月1日 - 平成12年3月31日	望月 洋 一
平成12年4月1日 - 平成16年3月31日	佐々木 輝 捷
平成16年4月1日 - 平成20年3月31日	時野 隆 至
平成20年4月1日 - 平成22年3月31日	當瀬 規 嗣
平成22年4月1日 - 現在	(所長事務取扱) 黒木 由 夫

(3) 組織

研究所に生化学、分子生物学、分子病理病態学の3部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成22年10月1日現在)

部 門	教 授	准教授	講 師	助 教	臨床検 査技師	研 究 補助員	計
生 化 学		1	1			1	3
分 子 生 物 学	1	1		2			4
分子病理病態学	1		1	2	1		5
合 計	2	2	2	4	1	1	12

(4) 研究計画の概要

ア 生化学部門

- (ア) 神経発生過程における分子メカニズムの解析
- (イ) 神経疾患に関する基礎的研究
- (ウ) スフィンゴ脂質とその結合タンパク質に関する研究
- (エ) がん細胞の増殖・運動とカルシウムシグナリング

イ 分子生物学部門

- (ア) ヒト癌の発生機序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の機能の解明
- (ウ) 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析
- (エ) 癌の遺伝子治療の基礎研究
- (オ) ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立

ウ 分子病理病態学部門

- (ア) 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝組織の再構築に関する研究
- (イ) 肝幹（前駆）細胞の増殖と分化に関する研究
- (ウ) 肝幹（前駆）細胞を用いた肝発生及び組織構造形成に関する研究
- (エ) 細胞外基質と疾患に関する研究
- (オ) 人工肝臓の基礎的研究

5 医学部附属臨海医学研究所

(1) 沿革

昭和43年 2月26日	附属臨海医学研究所設置委員会設置
昭和43年 5月 2日	附属臨海医学研究所運営委員会設置
昭和43年 9月 1日	札幌医科大学附属臨海医学研究所設置
昭和53年 7月25日	研究所開所10周年記念式典挙行
平成 5年 4月 1日	札幌医科大学医学部附属臨海医学研究所に名称変更
平成 5年11月 1日	研究所開所25周年記念式典挙行
平成11年 5月10日	札幌医科大学内に臨海医学研究所札幌研究室を設置

(2) 歴代研究所長

昭和43年 9月 1日 - 昭和45年 2月 1日		新 保 幸太郎
昭和45年 2月 1日 - 昭和51年 3月31日		渡 邊 左武郎
昭和51年 4月 1日 - 昭和55年 2月 8日	(所長事務取扱)	渡 邊 左武郎
昭和55年 2月 9日 - 昭和55年 6月30日	(")	和 田 武 雄
昭和55年 7月 1日 - 昭和57年 3月31日		小野江 為 則
昭和57年 4月 1日 - 昭和61年 2月 8日		菊 地 浩 吉
昭和61年 2月 9日 - 昭和61年 2月28日	(所長事務取扱)	菊 地 浩 吉
昭和61年 3月 1日 - 平成 2年 2月28日		高 橋 杏 三
平成 2年 3月 1日 - 平成 5年 3月31日		三 宅 浩 次
平成 5年 4月 1日 - 平成 8年 2月29日		秋 野 豊 明
平成 8年 3月 1日 - 平成12年 2月29日		森 道 夫
平成12年 3月 1日 - 平成16年 2月29日		神 保 孝 一
平成16年 3月 1日 - 平成18年 2月28日		佐 藤 昇 志
平成18年 3月 1日 - 平成22年 3月31日		當 瀬 規 嗣
平成22年 4月 1日 - 現 在		黒 木 由 夫

(3) 組織

(平成22年10月1日現在)

部 門 \ 職 種	教 授	准教授	計
所 長	1		1
基 礎 医 学 部 門		1	1
合 計	1	1	2

兼務

(4) 研究計画の概要

- ア 海洋生物由来抗腫瘍物質に関する研究
- イ 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析
- ウ 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索
- エ 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究

6 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4月1日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4月1日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門が発足
平成15年 4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6月	分子機能解析部門に教員を配置

(2) 歴代施設部長及びセンター所長

昭和44年 4月1日 - 昭和45年 3月31日	小野江 為 則
昭和45年 4月1日 - 昭和46年 8月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9月1日 - 昭和50年 3月31日	田 中 護
昭和50年 4月1日 - 昭和54年 3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4月1日 - 昭和58年 3月31日	林 喬 義
昭和58年 4月1日 - 昭和61年 3月31日	藪 英 世
昭和61年 4月1日 - 平成 2年 3月31日	秋 野 豊 明
平成 2年 4月1日 - 平成 6年 3月31日	森 道 夫
平成 6年 4月1日 - 平成10年 3月31日	加 納 英 雄
平成10年 4月1日 - 平成12年 3月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4月1日 - 平成16年 3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4月1日 - 平成20年 3月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4月1日 - 平成22年 3月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4月1日 - 現 在	藤 宮 峯 子

(3) 組織

センターは分子医学研究部門、分子機能解析部門、ラジオアイソトープ研究部門の3部門からなり、構成員は以下のとおりである。
(平成22年10月1日現在)

部 門	教授	准教授	講師	助教	助手	主査	臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技能員	研究補助員	計
分子医学研究部門	1			2	1					2		6
分子機能解析部門	1		1	1		1	2		1		1	8
R I 研究部門	1					1		3			1	6
合 計	3		1	3	1	2	2	3	1	2	2	20

兼務

(4) 研究計画の概要

ア 分子医学研究部門

- (ア) 遺伝子治療のための基礎技術の開発
- (イ) がんに対する遺伝子治療法の開発
- (ウ) 難治疾患に対する再生医療・遺伝子治療
- (エ) 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用

イ 分子機能解析部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) ヒト介在試験フィールドの構築
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

7 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始(以降、平成19年3月までに20回開催)
平成20年1月	札幌医科大学動物実験施設規程施行

(2) 歴代研究所長

昭和57年5月16日 - 昭和59年3月31日	浦澤正三
昭和59年4月1日 - 昭和63年3月31日	森道夫
昭和63年4月1日 - 平成4年3月31日	藪英世
平成4年4月1日 - 平成8年3月31日	大鹿英世
平成8年4月1日 - 平成10年3月31日	新津洋司郎
平成10年4月1日 - 平成14年3月31日	今井浩三
平成14年4月1日 - 平成17年3月31日	青木藩
平成17年4月1日 - 平成19年3月31日	加納英雄
平成19年4月1日 - 平成22年3月31日	澤田典均
平成22年4月1日 - 現在	堀尾嘉幸

(3) 組織

(平成22年10月1日現在)

教授	准教授	獣医師	動物飼育員	業務委託・派遣	庶務	計
1 1	1	2	4(2) 2	5(2) 3	(1) 2	13

1 兼務 2 () 内日々雇用職員 3 () 内短時間勤務

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
動物実験施設管理運営委員会
感染防止委員会実験動物部会
札幌医科大学動物実験規程

(5) 事業の概要（平成21年度）

ア 施設利用者数 延べ 11,147 名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	延べ飼育数	受入頭数
ラット	439,839	5,002
遺伝子改変ラット	10,117	25
マウス	558,645	5,356
遺伝子改変マウス	462,819	211
モルモット	8,298	213
ウサギ	7,408	51
ネコ	9,911	自家繁殖
ブタ	124	21
サル	1,460	0
ハムスター	205	0

エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ
受入頭数	5,030	5,454	213	51	21
発病頭数					
死亡頭数	1	1			
剖検検査頭数	1	1			
抗体検査頭数	184	88			
培養検査頭数	2	1		1	

8 附属総合情報センター

(1) 沿革

平成18年 4月 附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。

情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。

(2) センター所長

平成18年 4月 1日 - 平成22年 3月31日 佐藤 昇 志

平成22年 4月 1日 - 現 在 當 瀬 規 嗣

(3) 組織

(平成22年6月1日現在)

区分	教員	事務職員	司書	計
所 長	1			1
副 所 長	1	1		2
企 画 開 発 室	2			1
主 任 司 書			1	1
総務・システムグループ		2	3	5
図 書 グ ル ー プ			6	7
計	4	3	10	17

兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設 置 場 所 等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境を整備し、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (WindowsVista60台)等 保健医療学部教育用機器 (WindowsVista69台)等	基礎医学研究棟 5階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟 1階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
<p>医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。</p>	<p>遺伝情報処理ネットワークシステム、データ解析・統計処理システム、統計処理システム、情報可視化・テキストマイニングツール、蛋白質同定システム、NRIサイバーパテントデスク、e-Learnigシステム等</p>	<p>情報研究室他</p>

ウ 地域医療支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
<p>北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっている。本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。</p>	<p>遠隔画像診断支援システム、TV会議システム、多地点マルチメディアTV会議システム、病理画像診断サーバシステム等</p>	<p>臨床教育研究棟3階 臨床第二会議室他</p>

エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣旨	主な機器	設置場所等
<p>情報センターが整備する上記3システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク(SINET)と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。</p>	<p>公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアウォール、ウイルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等</p>	<p>基礎医学研究棟5階 コンピュータ(サーバ)室</p>

(図書館部門)

ア 組織・施設概要

項 目	内 容
延面積	4,140m ²
閲覧席	281席
(情報コンセント)	126個
セミナー室	2室
研究個室	4室
利用者用端末	16台
A V (視聴覚) 端末	12台
有料セルフコピー (コイン式)	3台
有料プリンター (コイン式)	4台

イ 蔵書 (平成22年3月31日現在)

項目	冊数	
蔵書	図書	75,903冊
	製本雑誌	117,281冊
	計	193,184冊

項目	冊数	
学術雑誌	和雑誌	2,932タイトル
	洋雑誌	2,600タイトル
	計	5,532タイトル
電子ジャーナル	5,398タイトル	

ウ 入館者数内訳 (平成21年度)

(単位：人)

	開館日数	学内者				学内者計	学外者	合 計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等			
全体	358日	12,838	140,615	4,009	9,118	166,580	9,655	176,235
うち土日祝	117日	1,043	21,362	473	701	23,543	1,229	24,772

土・日・祝日開館9時～翌日9時

エ 利用概要 (平成21年度)

項目	利用数	
利用状況	館外貸出	22,898冊 (うち本学卒業生1,303冊)
	相互利用 (学外からの受付)	6,593件 (うち道内医療従事者1,926件)
	相互利用 (学外への依頼)	3,940件

オ 地域医療支援（文献複写受付）

項目	内訳	医療機関	医療従事者	大学等	計
相互利用(学外からの受付)	道内	2,619件	1,926件	404件	4,949件
	道外	307件	319件	1,018件	1,644件
	計	2,926件	2,245件	1,422件	6,593件

カ 特徴的な業務

(ア) 24時間開館の実施

(イ) 閲覧席で持参のノートパソコンを使用したデータベースやインターネットへの接続環境を提供

(ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供

・ 米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用

・ 国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用

(エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

9 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足

平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

(2) 歴代センター所長

平成19年4月1日 - 平成20年3月31日 濱田 洋文

平成20年4月1日 - 現在 三高 俊広

(3) 組織

(平成22年10月1日現在)

所長	参事	副所長	事務職員	特任教員	産学官連携 コーディネーター	計
1 ₁	1 ₁	2 ₂	5	2	1 ₃	9

1 兼任

2 うち1名兼任

3 兼任

(4) 業務概要

ア 研究支援

科学研究費補助金等

文部科学省科学研究費補助金をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等

共同研究・受託研究

本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付、あっせん、契約、経理等

イ 教育支援

知財教育プログラム

医療研究者、地域医療従事者を支援するための知的財産教育プログラムの実施

知的財産関係図書

知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

ウ 知的財産の管理活用

相談受付

研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付

知的財産管理

発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、特許をめぐるトラブルの処理等

リエゾン（知財を核とした技術移転）

本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費補助金

(単位：千円)

種 目	平成 20 年度							平 21 年度						
	新 規 応 募		交 付 内 定					新 規 応 募		交 付 内 定				
			(新 規)			交 付 合 計				(新 規)			交 付 合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	採 択 率	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	採 択 率	件 数	金 額
特定領域 研究	23	139,430	1	5,000	4.3%	8	103,600	2	20,000	0	0	0%	7	89,300
新学術	2	30,000	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
基盤研究 (S)	1	11,310	0	0	-	1	16,800	0	0	0	0	0%	1	16,800
基盤研究 (A)	3	81,000	1	23,000	33.3%	1	23,000	1	48,000	1	12,600	100%	2	26,300
基盤研究 (B)	30	265,914	9	57,600	30%	30	135,900	29	521,968	6	31,500	20.7%	25	98,400
基盤研究 (C)	108	209,820	27	39,800	25%	58	79,000	106	480,096	28	40,700	26.4%	61	73,900
挑戦的 萌芽研究	63	152,697	1	800	1.6%	12	13,200	42	186,001	6	8,800	14.3%	12	14,800
若手研究 (S)	2	30,500	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
若手研究 (A)	2	21,100	0	0	-	0	0	3	39,970	0	0	-	0	0
若手研究 (B)	80	200,653	27	43,200	33.8%	49	68,500	117	504,166	30	53,600	25.6%	60	86,700
若手 スタートアップ [※]	1	1,340	1	1,340	100%	1	1,340	0	0	0	0	-	1	1,200
奨励研究	1	1,000	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0%	0	0
特別研究 促進費	1	2,000	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
特別研究 員奨励費	3	4,000	3	2,600	100%	3	2,600	0	0	0	0	-	3	2,200
合 計	320	1,150,764	70	173,340	21.9%	163	443,940	300	1,800,201	71	147,200	23.7%	172	409,600

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	平成 21 度		平成 20 年度		平成 19 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	64	528,961	40	266,431	31	266,199
一般受託研究	46	31,747	38	20,281	40	35,334
合 計	110	560,708	78	286,712	71	301,533

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成 21 度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
出 願	16	18	23	18	19	13
取 得	1	0	1	0	0	2

発明等の管理は、平成 16 年度までは教員個人が行い、平成 17 年度からは大学が行っている。
平成 17 年度は移行期であるため、教員個人管理の出願 8 件を含む。

10 緩和医療学講座

(1) 沿革

平成 20 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズの協力により寄附講座として緩和

(2) 所属長

平成 20 年 4 月 1 日 - 平成 21 年 3 月 31 日	並 木 昭 義
平成 21 年 4 月 1 日 - 平成 22 年 3 月 31 日	晴 山 雅 人
平成 22 年 4 月 1 日 - 現 在	山 蔭 道 明

(3) 組織

(平成 22 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	特任助教	事務職員	計
1	1	3	1	6

兼務

(4) 研究計画の概要

緩和医療学講座の 5 年間に於ける研究及び活動計画は以下の内容について実施し、その結果を公表する。

ア 実態調査

- (ア) 患者、家族の緩和医療、ケアに求めるもの
- (イ) 各職種医療者の緩和医療学及び体制に関する認識
- (ウ) 医学生、看護学生の緩和医療、ケアに関する認識

イ 研究課題

- (ア) 難治性がん疼痛患者の対応
- (イ) がん疼痛機序の研究
- (ウ) 化学療法による末梢神経障害機序の研究
- (エ) がん化学療法の適正な使用法と副作用対策
- (オ) 医療者のコミュニケーション能力の向上
- (カ) がん患者、家族及び遺族の苦悩の対応
- (キ) 地域医療との連携

ウ 啓発活動

- (ア) 医学生、看護学生、その他学生の講義と実習指導
- (イ) 医療者の講義と実施教育
- (ウ) 医療者向け講演会と市民講座の開催

各年度の活動、実績を基に次年度の具体的な研究、活動方針の企画及び 5 年間の目標達成を検討する。

11 分子標的探索講座

(1) 沿革

平成 20 年 5 月 1 日 日東電工株式会社の寄附により、分子標的探索講座を設立

(2) 所属長

平成 20 年 5 月 1 日 - 現 在 新 津 洋 司 郎

(3) 組織

(平成 22 年 10 月 1 日現在)

特任教授	特任助教	博士研究員	研究支援者	計
1	4	1	1	7

(4) 研究計画の概要

ア まず、p53 のがん抑制因子としての活性が、TGF の作用に絶対的に依存していることを、*in vitro*、*in vivo* の系で証明し、次いで様々ながん腫におけるこのシグナルの異常を解析した上で、それによって低下したがん抑制活性を高める為の様々な治療戦略を開発する。

イ 細胞の運動シグナルのマスター分子である pkczeta の阻害分子を探索し、転移モデル、炎症モデルで有用性を検証する。

ウ がん随伴する線維芽細胞（がん細胞に様々な成長因子を与えている）に特異的に発現している受容体を介して、抗癌剤を取り込ませ死滅させるという、新しい概念の癌間質抑制療法を開発する。

エ 大腸がんの初期発生過程に GSTpi/Raf/ERK シグナルが関与していることを、*in vitro*、*in vivo* の系で証明し、GSTpi 阻害剤の化学予防薬としての有用性を検証する。

オ 肝組織再生時の星細胞の役割（幹細胞との相互作用）を明らかにし、他の組織においてもそのアナロジーが成り立つか否かを検証する。それと同時に星細胞における VA 受容体の同定を行いその役割についても調べる。

カ 組織再生戦略として、線維化組織や異常な血行を再構築した上で、組織幹細胞を活性化させる、または多機能幹細胞（ips、ES、骨髄間葉系幹細胞）を外部から導入するという構想を具体化する。

12 神経再生医学講座

(1) 沿革

平成19年8月1日 文部科学省「橋渡し研究支援推進プログラム、オール北海道先進医学・医療拠点形成プロジェクト」が発足

平成19年9月27日 北海道臨床開発機構が発足

平成20年5月1日 新たな大学附属機関として、神経再生医学講座が発足

(2) 所属長

平成20年5月1日 現在 本望 修

(3) 組織 (平成22年10月1日現在)

特任教授	研究支援者	計
1	2	3

(4) 研究計画の概要

【基礎研究】

* 治療メカニズムの解明

動物実験の継続 臨床データの詳細な解析

* 治療プロトコルの最適化、治療効果の向上

動物実験の継続 臨床研究への応用

* 適応疾患の拡大

他科との連携 学内横断的な協力体制
基礎研究から臨床研究へ

* 新たなドナー細胞の検索

骨髄幹細胞から誘導した神経幹細胞
末梢血由来の幹細胞

【臨床研究推進】

* 骨髄幹細胞による脳梗塞治療の推進 (臨床研究体制の整備)

幹細胞治療に特化した、新たな治療・評価体制の確立
高度医療、先進医療、医師主導の治験、への移行
多施設共同研究 (他大学、道内病院との連携)
体制の強化

【実用化推進】

* 臨床に使用できる幹細胞の調製・提供体制の整備

細胞調整施設 (Cell Processing Center) の整備
標準手順書の整備・改良 (GLP、GMP基準)
検査体制の確立

【実用化研究開発】

* 実用化面での効率化・改良を推進

採取方法、培養の効率化 搬送方法の確立
細胞培養の自動化

1 3 オホーツク医療環境研究講座

(1) 沿革

平成 2 2 年 8 月 1 日 北見赤十字病院からの申し出により特設講座としてオホーツク医療環境研究講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 2 2 年 8 月 1 日 - 現在 篠 村 恭 久

イ 代表教員

平成 2 2 年 8 月 1 日 - 現在 細 川 雅 代

(3) 組織

(平成 2 2 年 1 0 月 1 日現在)

教 授	准教授	講 師	特任助教	事務職員	計
9	1	1	3	1	1 5

は兼務の数であること

(4) 研究計画の概要

本講座では、地域医療を担う医療従事者に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究及びその実践を行うため、次の取組みを実施する。

ア 地域医療に従事する医師が精度の高い診断技術と適切な診療を行う判断力を養うため、教授方法の研究及びその実践

イ 看護ケアの充実・向上を図るため、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を持つ看護師を養成し、地域病院の看護師等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

ウ 地域のリハビリテーション水準の向上を図るため、専門の指導士を養成し、地域病院の理学療法士等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

1 4 道民医療推進学講座

(1) 沿革

平成22年9月1日 北海道知事からの申し出により特設講座として道民医療推進学講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成22年9月1日 - 現在 山下 敏彦

イ 代表教員

平成22年9月1日 - 現在 和田 卓郎

(3) 組織

(平成22年10月1日現在)

教 授	特任教授	准教授	特任准教授	特任助教	計
3	1	1	1	1	7

は兼務の数であること

(4) 研究計画の概要

地域医療の確保を目的に、地域医療を担う医師の養成に関する調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究

地域にはそれぞれ固有の医療ニーズがあると考えられる。地域特異的な医療ニーズを明らかにすることにより、地域特性を踏まえた医療資源の効率的な提供方法を考案し、地域医療の質の向上を図る。

イ 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究

地域医療に従事する医師に対する最新の医療知識・技術の教授方法の研究をすることにより、医療情報格差が生じないようなシステムの構築と教育研修の実践を行う。

ウ 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立

地域における医療供給体制の充実を図るための医療機関の機能分化と連携手法について研究する。

エ 地域の医療水準を向上するためのコメディカルスタッフに対する教育・指導法の研究及び実践

地域医療を担う看護師等に対する最新の医療知識の教授を行う。

オ 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床

大学と地域基幹病院と地域医療機関で医療情報を迅速に共有化することにより、専門医の的確な診断・治療助言ができるようなシステムを構築する。

カ 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践

地域住民の健康に対する知識や意識を高める手法を研究することにより、疾病の予防や医療費の低減を図る。また、公開講座などの実践を行う。

1 5 南檜山周産期環境研究講座

(1) 沿革

平成 2 2 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として南檜山周産期環境講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 2 2 年 9 月 1 日 - 現在 齋 藤 豪

イ 代表教員

平成 2 2 年 9 月 1 日 - 現在 高 橋 円

(3) 組織

(平成 2 2 年 1 0 月 1 日現在)

教 授	特 任 助 教	計
2	2	4

は兼務の数であること

(4) 研究計画の概要

深刻な産婦人科医不足の問題の解決に向けて、本講座では、地域の周産期医療を担う医師の養成、安全な分娩体制の構築等について調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究及び実践

過疎地域において周産期医療を行うためには、個々の医師が分娩時に起こる様々な事象に適切に対処することが求められる。地域においてそのような技能と知識を習得できるような教授方法の開発と大学における地域周産期医療を担う人材の育成を行う。

イ 地域において産科医師が安全に分娩業務を行うための方法の研究及び臨床

産科医が自ら望んで地域に来て、安心して分娩業務を遂行するために、どのような体制を構築することが必要かについて調査し、産科医にとって魅力的な職場にする手法を研究する。

ウ 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究及び実践

産科医が対応できないような場合でも、妊産婦あるいは胎児の状態の変化に対して的確な判断ができるような助産師・コメディカルを養成することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

エ 産科医、麻酔科医連携に関する調査・研究及び実践

緊急帝王切開をはじめとして、分娩に生じる様々な緊急事態に適切に対応するために必要な知識や手法の教授や研修会を開催することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

加えて、産科医と麻酔科医の連携手法等の調査を行うことにより、地域における産科医の負担を軽減する手法を研究する。

16 平成22年度収入支出予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>6,528,000</u>	<u>業務費</u>	<u>27,268,075</u>
運営費交付金	6,528,000	教育研究経費	1,150,953
<u>学生納付金</u>	<u>904,798</u>	医薬材料費	6,751,135
学生納付金	904,798	診療経費	2,286,575
<u>附属病院収入</u>	<u>19,429,524</u>	管理経費	3,535,454
診療収入	19,429,524	人件費	13,543,958
<u>雑収入</u>	<u>679,722</u>	<u>財務費用</u>	<u>273,969</u>
負担金及び補助金	314,458	長期借入金償還費	273,969
科学技術研究費等間接経費	134,981	<u>受託経費</u>	<u>458,464</u>
その他雑収入	230,283	受託経費	458,464
<u>受託収入</u>	<u>458,464</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>508,868</u>
受託収入	458,464	寄附金事業費	508,868
<u>寄附金収入</u>	<u>508,868</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,086,802</u>
寄附金	508,868	施設整備費	566,802
<u>道費補助金</u>	<u>566,802</u>	機器整備費	520,000
施設整備費補助金	566,802	<u>目的積立金活用事業費</u>	<u>26,556</u>
<u>道費借入金</u>	<u>520,000</u>	目的積立金活用事業費	26,556
医療機器整備費借入金	520,000		
<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>26,556</u>		
目的積立金取崩収入	26,556		
計	29,622,734	計	29,622,734

17 校舎等建物面積

(平成22年10月1日現在)
(単位: m²)

用途別	建物別	計	大 学 校 舎							R1室・がん研 究所	臨海医学 研究所	
			東	棟本部	棟	教育北棟	教育南棟	保健医療 部棟	臨床教育 棟			基礎医学 棟
校	講義室・演習室	3,775	1,059	358	360	920	816	262				
	実験室・実習室	8,331			1,551	510	2,926	2,039	1,305			
	研究室	4,484	641	153			1,241	1,313	1,136			
	講座関係	3,727	199					2,578	950			
	標本館	407	37						370			
	図書館	4,230							4,230			
	RI研究センター	1,212									1,212	
	動物実験施設部	2,080	1,691	389								
	講堂	461						461				
	管理関係その他	29,804	4,311	1,025	637	311	2,655	8,137	12,553	175		
小計	58,511	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,544	175	1,212	0	
研究所	がん研究所	1,617									1,617	
	臨海研究所	199										199
	小計	1,816									1,617	199
計	60,327	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,544	175	2,829	199	

用途別	建物別	計	附属病院		体育館	弓道場	グラウンド 附属物	学生寮	保育所	看護師 宿舎	国際医学 交流セン ター	リハビリ テーション 教育実習 棟	交 流 会 館	流 館	ファミ リ ー ハ ウ ス	記 念 ホ ー ル	細胞 プロセ ス シ ン グ 施 設	ブ ッ ク セ ン グ シ ン グ 設 施	白 小 井 屋	その他	
			中央診療 棟	外来 診療棟																	
附属 病院	病棟関係	24,635	22,253	2,382																	
	外来関係	8,632	901	7,731																	
	中央部門	11,373	10,257	1,116																	
	管理関係その他	20,449	17,353	3,096																	
	小計	65,089	50,764	14,325																	
体育施設	1,741			1,440	139	162															
学生寮	1,190						1,190														
保育所	486							486													
看護師宿舎	2,847								2,847												
国際医学交流 センター	618										618										
リハビリテー ション教育 実習棟	778											778									
交流会館	1,907												1,907								
ファミリー ハウス	553														553						
記念ホール	733															733					
細胞プロセ スシ ン グ 施 設	364																364				
その他	165																		72	93	
計	76,471	50,764	14,325	1,440	139	162	1,190	486	2,847	618	778	1,907	553	733	364	72	93				

総計 136,798

平成22年度 札幌医科大学要覧

平成22年11月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学

事務局企画管理部経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線2164

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp/>
